YAMAHA

取扱説明書

⚠ ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。

NMAX

モーターサイクル

NMAX155 (GPD155D-A)

BTB-F8199-J0 ●

安全運転のために 1

各部の名称 2

車両の特徴 3

スマートフォン連携システム 4

各部の取り扱いと操作 5

日常点検 6

運転操作 7

点検整備 8

お車の手入れ 9

製品仕様 10

ユーザー情報 11

索引 12

はじめに

JAU27264

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警 告	**取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
注 意	**取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。
● 車の正しい取り扱い方法
● 日常点検、定期点検整備
● 保証内容および保証期間
※ 車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。
※ 仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために 1-1
あなた自身と同乗者のために 1-1
歩行者と他の車のために 1-5
環境・住民の方との調和のために...... 1-6

各部の名称 2-1
左側面 2-1
右側面 2-2
運転装置と計器類 2-3

車両の特徴 3-1
YECVT
（ヤマハ電子制御無段変速機構）...... 3-1
スマートキーシステムの概要 3-3
スマートキーシステムの作動範囲...... 3-4
スマートキーおよび
メカニカルキーの取り扱い 3-5
スマートキー操作のしかた................ 3-6
スマートキーの電池交換のしかた...... 3-7
メインスイッチ 3-9
アイドリングストップ機能.............. 3-12
アイドリングストップの操作手順と
作動 3-13

スマートフォン連携システム 4-1
スマートフィーチャー 4-1
初期設定 4-2
電話 4-6
接続エラーが発生したときは............ 4-7

各部の取り扱いと操作 5-1
警告灯と表示灯 5-1
デュアルディスプレイ 5-3
メインディスプレイ 5-4
インフォテインメント
ディスプレイ 5-5
メニューシステム 5-10
ハンドルスイッチ 5-20
フロントブレーキレバー.................. 5-22
リヤブレーキレバー 5-22
ABS 5-23
トラクションコントロール
システム 5-23
フューエルタンクキャップ.............. 5-25
燃料 5-26
シート 5-26
ヘルメットホルダー 5-27
書類入れ.. 5-27
小物入れとトランク 5-27
リヤクッションの調整 5-28
スタンディングハンドル.................. 5-29
USB Type-C ジャック..................... 5-29
サイドスタンド 5-30
イグニッションサーキット
カットオフシステム 5-30

日常点検.. 6-1
日常点検の実施 6-1
日常点検箇所／点検内容.................... 6-1

運転操作.. 7-1
ならし運転 7-1
エンジン始動..................................... 7-1
発進 7-2
加速と減速... 7-2
ブレーキ 7-3
駐車 7-3

点検整備.. 8-1
点検整備の実施 8-1
カバーの取り外し、取り付け............. 8-2
エンジンオイル 8-3
ファイナルギヤオイルの交換時期...... 8-4
エンジンのかかり具合、
異音の点検 8-4
低速、加速の状態の点検 8-4
冷却水 8-5
エアクリーナーエレメント、
V ベルトフィルターエレメント 8-7
タイヤ 8-9
ブレーキレバーの遊び、
きき具合の点検............................ 8-10
ブレーキパッドの点検..................... 8-11
ブレーキ液量の点検 8-11
バックミラー 8-12
車体各部の給油脂状態の点検........... 8-13
バッテリー...................................... 8-13
ヒューズ交換 8-14
灯火装置および方向指示灯の点検.... 8-16
運行において異常が
認められた箇所の点検 8-17
こんなときは................................... 8-17
スマートキーシステムの
エマージェンシーモード 8-20

お車の手入れ................................9-1
洗車 9-1
キャストホイールの取り扱い.............9-2
ウインドスクリーンの取り扱い 9-2
保管のしかた.....................................9-3
アフターケア用品について 9-3

製品仕様.....................................10-1

ユーザー情報..............................11-1
二輪車を廃棄する場合は？ 11-1
サービスマニュアル（別売）の
紹介..11-2
車両情報 11-2

索引 12-1

安全運転のために

JAU27281

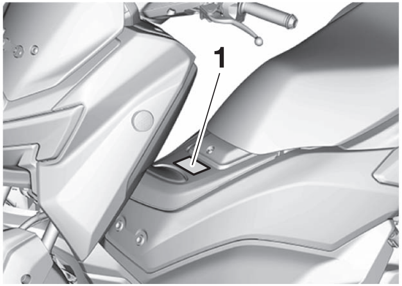
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。
安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAUT4441

あなた自身と同乗者のために

安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。
車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

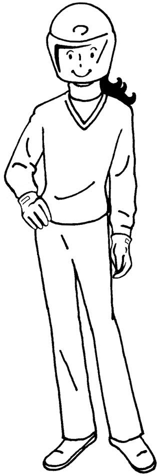


1. 安全項目ラベル

> **⚠ 警 告**
>
> •取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
> •ヘルメットを正しくかぶりましょう。
> •マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車するなどの配慮をしましょう。
> •ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
> •違法改造はやめましょう。
> •定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットは PSC または SG、JIS マークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は以下のことを確認して選び、着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
  - プロテクターを備えた保護性の高い服で明るく目立つ色のもの
  - 動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボン



- 以下のような服装は運転操作のじゃまになります。また、回転部分に巻き込まれたり高熱になる部分に接触したりして、思わぬ事故の原因にもなりますので、着用しないでください。
  - ズボンのすそや袖口の広い服
  - 衣服の飾り物や紐など、長すぎる装飾がある服
  - ロングスカートやロングマフラーなどの体に密着しない服
- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

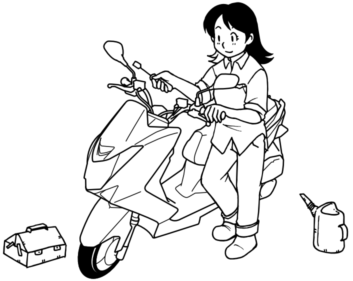
JWA11601

⚠ 警 告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず行う

事故や故障を防ぐため、法令に準じた日常点検を行ってください。また、法令に準じた 1 年、2 年ごとに行う定期点検も必ず実施してください。



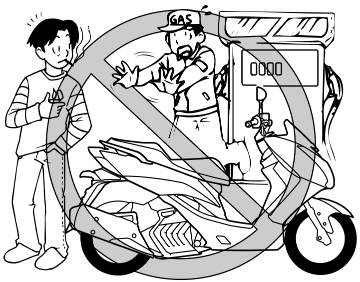
車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
- 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

給油時は火気厳禁

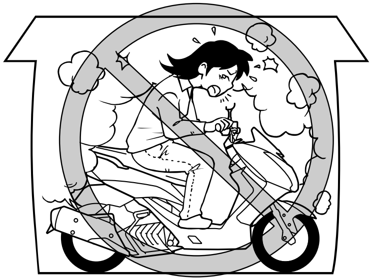
ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。



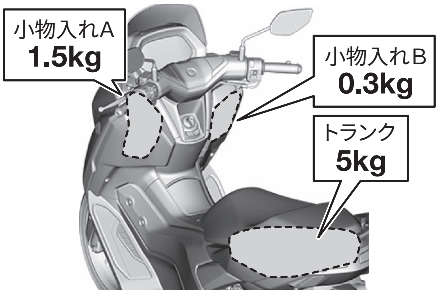
風通しの悪い場所でエンジンを始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。



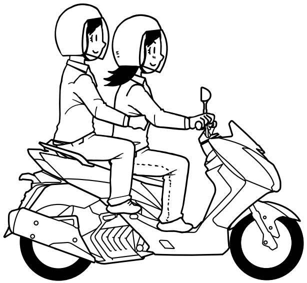
荷物を積むときは



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険ですので、積みすぎないように注意してください。
- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。
- マフラー、エンジンなどの熱くなるところへ荷物などの物が触れないようにしてください。

両手はハンドル、両足はフットレストボード

- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストボードにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストにのせさせます。



押して移動するときはエンジンを止める

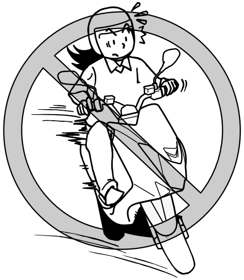
車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。
やむをえずエンジンをかけたまま移動するときはスロットルグリップを不用意に回さないようにするため、必ず右手でスタンディングハンドルを持って行ってください。
スロットルグリップを持って行うと思わぬ事故の原因となります。

乗車定員は２名

ただし、免許取得後１年未満の運転者は、法令により２人乗りはできません。
タンデムシート以外の場所には人を乗せないでください。

急激なハンドル操作や片手運転はしない

急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。



誤った方法でエンジンを停止しない

誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。

- 走行中にエンジンを停止する。
- 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JCA15221

注 意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

自賠責保険に必ず加入

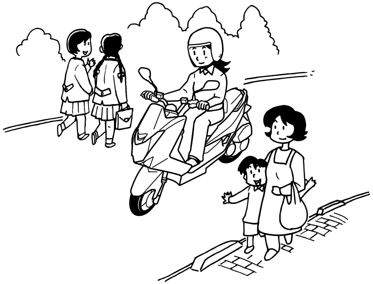
自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

JAU66240

歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。



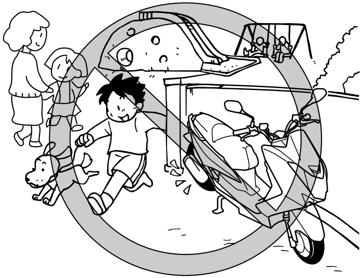
駐車

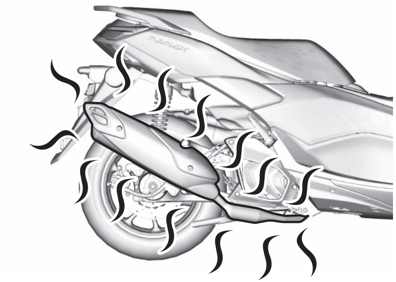
- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、スマートキーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- サイドスタンドを使用して駐車するときは、車が停止してからハンドルを左に切ってください。

JWA12241

⚠ 警 告

- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**
- **マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。**





昼間はヘッドライトを下向きに

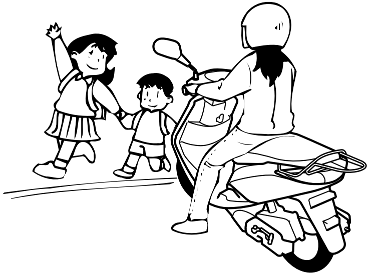
この車両は自動昼間点灯仕様です。エンジンがかかっている間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

JAU27651

環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり

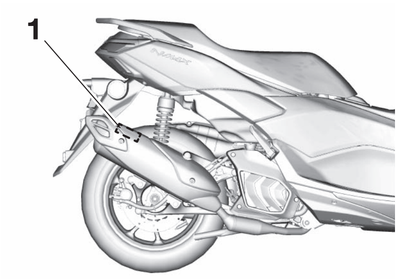
自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。



特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない

- 違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。
- この車は、排出ガス規制適合車です。マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。なお、ヤマハ純正部品のマフラーには“YAMAHA” マークが刻印されています。



1. “YAMAHA” マーク

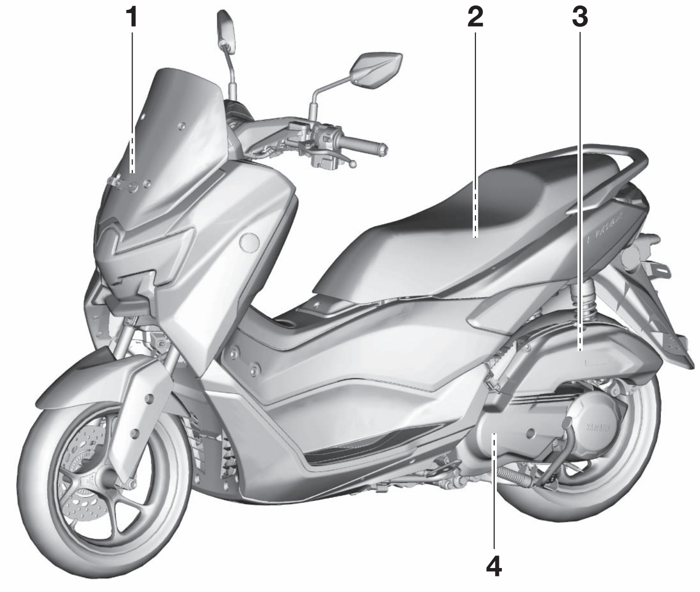
環境への配慮

廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

各部の名称

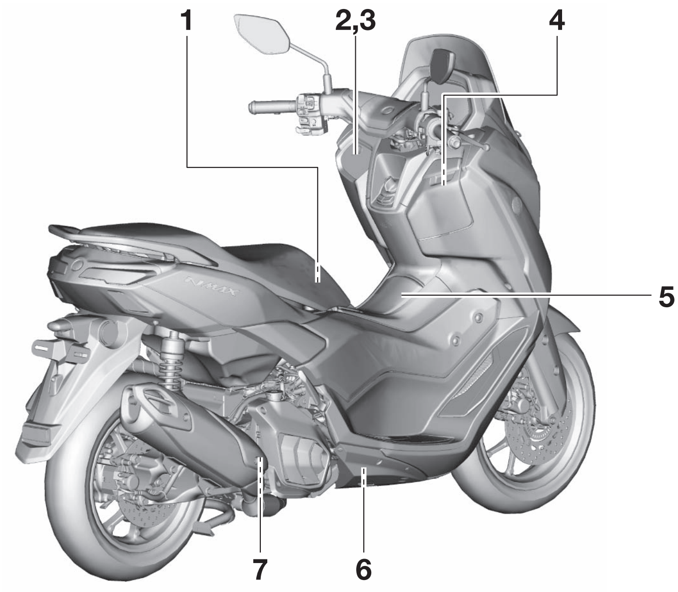
JAU10411

左側面



1. ヒューズボックス（P 8-14）
2. トランク（P5-27）
3. エアクリーナーエレメント（P 8-7）
4. V ベルトフィルターエレメント (P8-7)

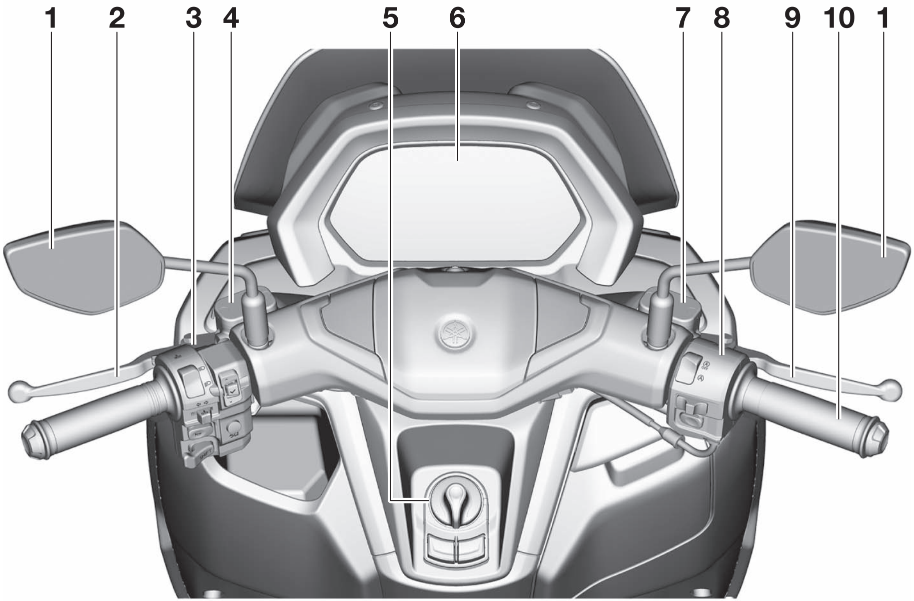
右側面



1. バッテリー（P8-13）
2. 小物入れ A（P5-27）
3. USB Type-C ジャック（P5-29）
4. 小物入れ B（P5-27）
5. フューエルタンクキャップ（P5-25）
6. リカバリータンク（P8-5）
7. オイル注入口（P8-3）

JAU10431

運転装置と計器類



1. バックミラー (P8-12)
2. リヤブレーキレバー（P8-10/P5-22）
3. ハンドルスイッチ（左）（P5-20）
4. リヤブレーキリザーバータンク（P8-11）
5. メインスイッチ（P3-9）
6. マルチファンクションメーター（P5-3）
7. フロントブレーキリザーバータンク（P8-11）
8. ハンドルスイッチ（右）（P5-20）
9. フロントブレーキレバー（P8-10/P5-22）
10. スロットルグリップ（P7-2）

JAUA2382

YECVT（ヤマハ電子制御無段変速機構）

この車両には、電子制御無段変速機構であるYECVT が装備されています。ユーザーは、好みや運転環境に基づいて 2 つの異なる走行モードを選択できます。YECVT は変速特性をすばやく変更でき、モーターサイクルのシフトダウンに似た効果を生み出します。シフトダウンは最大 3 段階になっており、ユーザーは、より強い加速またはエンジンブレーキが必要な場合に、2 種類の方法でシフトダウンができます。

JCA15902

注 意

使用前に各スイッチの操作内容を充分確認、理解してから操作してください。（5-22 ページ参照）

走行モード

S モード

エンジン回転を高めに設定しており、スポーティーな走行に適していています。

T モード

エンジン回転を低めに設定しており、通常走行に適しています。

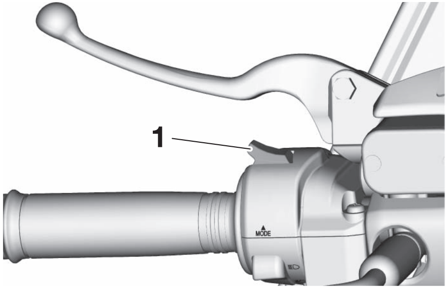
シフトダウン

シフトダウンには、スロットルをすばやく開けて行うアクセルシフトダウンとハンドルバーに搭載されている “SHIFT” スイッチを押して行うスイッチシフトダウンの 2 種類の方法があります。

JAUA2352

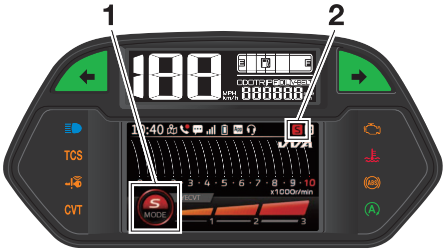
走行モードの切替

走行モードの切替は、“MODE” スイッチを操作して行います。
“MODE” スイッチを押すごとに、S モードと T モードが切り替わります。



1. MODE スイッチ

使用中の走行モードは、走行モードディスプレイアイコンで表示されます。インフォテイメントディスプレイがタコメータービジュアライザーの場合は、走行モードディスプレイも表示されます。



1. 走行モードディスプレイ
2. 走行モードディスプレイアイコン

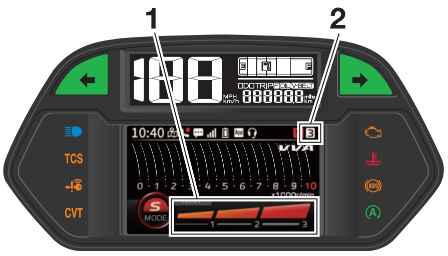
要 点

- 車両の電源をオンにすると、前回選択していた走行モードが再選択されます。
- シフトダウン中に“MODE”スイッチを押すと、シフトダウンがキャンセルされるのみで、走行モードは切り替わりません。

JAUA2363

シフトダウン方法

S モード、T モードのいずれでもシフトダウンが可能です。シフトダウンにはアクセルシフトダウンとスイッチシフトダウンの 2 種類の方法があります。
シフトダウン中の段数は、シフトダウンインジケーターアイコンで表示されます。インフォテイメントディスプレイがタコメータービジュアライザーの場合は、シフトダウンディスプレイも表示されます。



1. シフトダウンディスプレイ
2. シフトダウンインジケーターアイコン

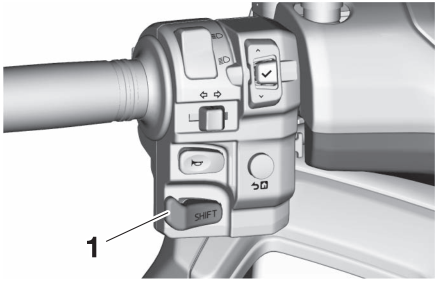
アクセルシフトダウン
スロットルをすばやく開けると 1 段のシフトダウンができ、快適に加速できます。この方法は停止状態から発進するときに効果的です。

要　点

このシフトダウン方法は 1 段のみのシフトダウンになります。追加でシフトダウンするためには、スイッチシフトダウンを使う必要があります。

スイッチシフトダウン
シフトスイッチ “SHIFT” を押すごとに 1 段ずつ 3 段階までシフトダウンができます。
スイッチシフトダウンは、すばやく加速したいとき、エンジンブレーキを効かせたいときや登坂力を得たいときに使用してください。

“SHIFT” スイッチは、加速中、減速中のいずれの場合でも操作できます。



1. “SHIFT” スイッチ

要　点

以下の状況で “SHIFT” スイッチを操作しても、スイッチシフトダウンは行われず、シフトインジケーターアイコンが点滅します。
- シフトダウンによりエンジンが過回転になるおそれがある場合
- アクセルシフトダウンしていない状況で、車両の速度が 15 km/h に達していない場合
- エンジン回転が上がるのか、下がるのか ECU が検知できない場合

より強く加速するためのシフトダウン
走行中に、すばやくスロットルを開ける、もしくは “SHIFT” スイッチを 1 回押すと、1 段シフトダウンします。
シフトダウンを 1 段した後、“SHIFT” スイッチを押すと、更に加速ができます。

要　点

加速中のシフトダウンは以下の条件になると、キャンセルされます。
- スロットルを完全に閉じる
- “MODE” スイッチを押す

より強く減速するためのシフトダウン
走行中、スロットルを完全に閉じた状態で “SHIFT” スイッチを押すと、エンジンブレーキを効かせて減速できます。

要　点

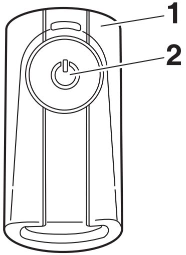
減速中のシフトダウンは以下の条件になると、キャンセルされます。
- 一度スロットルを開けた後にスロットルを完全に閉じる
- “MODE” スイッチを押す
- 車両の速度が 15 km/h 以下になる

JAUA4561

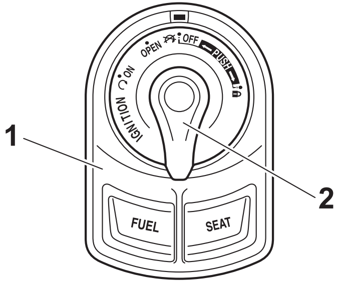
スマートキーシステムの概要

スマートキーシステムは、スマートキーを持っていることにより、メカニカルキーを取り出すことなく次の操作が可能になるシステムです。また、駐車場で車を見つけるのに役立つアンサーバック機能付きです。

- 電源の ON/OFF
- エンジンの始動と停止
- ハンドルロックの解除 / 施錠
- シートロックの解除
- フューエルタンクキャップリッドの解除



1. スマートキー
2. スマートキーボタン



1. メインスイッチ
2. メインスイッチノブ

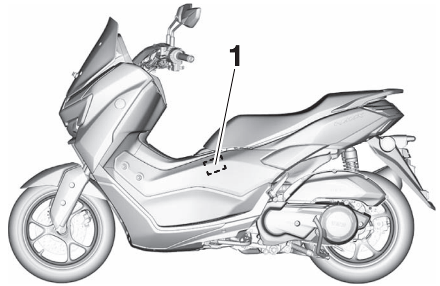
要　点

最後に車を使用してから（車両の電源を ON から OFF にしてから）約 9 日間経過すると、バッテリー保護のためスマートキーの使用ができなくなります。このようなときは、再度車両の電源を ON にすると、エンジンを始動することができます。

JWA20570

警 告

植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、車載アンテナ（イラスト参照）から約 22cm 以内に植え込み型心臓ペースメーカーが近づかないようにしてください。スマートキーシステムは、トランクの左側に設置されたアンテナを使用して微弱電波を発信しています。この電波により、植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器などの医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。その他の医療用電子機器をご使用のお客様は、医師や医療用電気機器製造業者などに影響の有無を確認してからご使用ください。



1. 車載アンテナ

JCA24080

注 意

スマートキーシステムは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはスマートキーシステムが正常に作動しないことがあり、各種ロックの解除や電源の ON などができないことがあります。

- **強い電波、ノイズのある場所に置いたとき。**
- **近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など、強い電波を発する設備があるとき。**
- **スマートキーを、携帯電話や無線機などの通信機器と一緒に携帯しているとき、または使用しているとき。**
- **スマートキーが金属物に触れていたり、覆われているとき。**

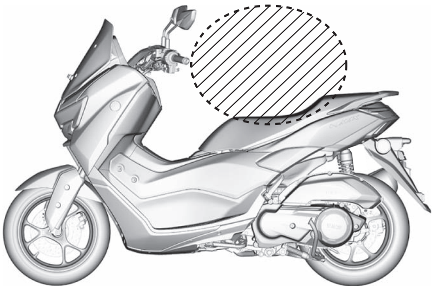
- **スマートキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。**
- **近くで他の車がスマートキーシステムを使用しているとき。**

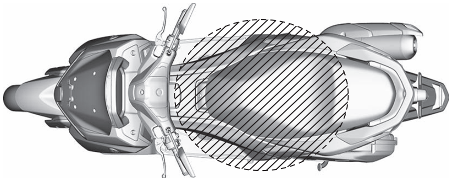
このようなときはスマートキーの場所を移動して、再度操作を行ってください。それでも作動しないときは、エマージェンシーモード（8-20 ページ参照）で操作を行ってください。

JAUA2140

スマートキーシステムの作動範囲

車がスマートキーの所在を確認して認証するときの作動範囲は、およそ下図の範囲です。





スマートキーがロック状態の場合、スマートキーを持っていてもスマートキーシステムは作動しません。スマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

要　点

- トランク内にスマートキーを置かないでください。
- スマートキーは、必ず運転者が携帯してください。
- 車から離れるときは、スマートキーをロックの状態にしてください。

JAUA4500

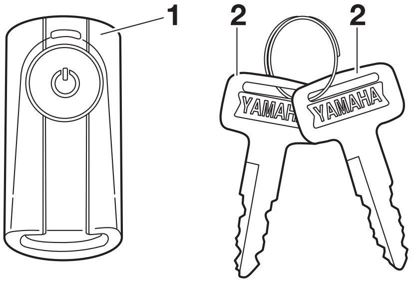
スマートキーおよびメカニカルキーの取り扱い

JWA17952

警 告

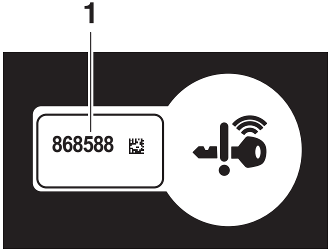
- **スマートキーは、運転者が必ず携帯してください。**
- **スマートキーが作動範囲内にあると、スマートキーを身につけていない人でもエンジンの始動やシートロックの解除、ハンドルロックの解除／施錠が可能ですので、充分に注意してください。**

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないよう、充分に注意してください。
- この車には、スマートキー 1 個、メカニカルキー 2 本、ID 番号カード 1 枚が付属しています。メカニカルキーと ID 番号カードは、車の保管場所とは別にして大切に保管してください。また、ID 番号カードの紛失に備えて、**ID 番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。**



1. スマートキー
2. メカニカルキー

- 車両のバッテリー電圧が低下している場合は、メカニカルキーを使用してシートを開けることができます。**スマートキーと一緒にメカニカルキー 1 本を携帯してください。**
- スマートキーと ID 番号カード（ID 番号の控えを含む）を全て紛失または破損したときは、スマートキーシステム全体の部品交換になります。詳しくは販売店にご相談ください。
- スマートキーの ID 番号（6 桁数字）は ID 番号カードに記されています。緊急時にはこのスマートキーの ID 番号（6 桁数字）を入力することで、スマートキーを使用せずに各種ロックの解除やエンジンの始動が可能になります。緊急時の操作方法については、8-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。



1. ID 番号カード

JCA27090

注 意

スマートキーは、信号を発信するための精密な電子部品を内蔵しています。故障の原因となりますので、以下のことを守ってください。

- **トランク内にスマートキーを置いたり収納したりしないでください。振動や過度な熱によりスマートキーが損傷するおそれがあります。**
- **無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。**
- **水に濡らさないでください。**
- **重いものを上に置かないでください。**
- **直射日光があたる場所や、高温、多湿になるところに放置しないでください。**
- **火であぶったりしないでください。**

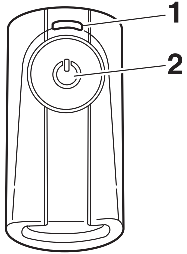
- **削ったり、穴を開けたりしないでください。**
- **超音波洗浄器などで洗浄しないでください。**
- **磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけないでください。**
- **テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。**
- **低周波治療器などの医療用電気機器の近くに置かないでください。**
- **ガソリンなどの燃料やツヤ出し剤、油脂類が付着しないようにしてください。変形したり、ひび割れたりすることがあります。**
- **シールを貼らないでください。**

要　点

- スマートキーは車から離れているときも電池を消耗しています。
- 電池の寿命は使用状況により異なりますが、約 2 年程度です。（全く使用しなくても電池は消耗します。）
- 車両の電源をオンにした時にメーターのスマートキーシステム表示灯が点滅 (約 20 秒）した場合は、新しい電池に交換してください。(電池交換のしかたは、3-7 ページ参照)
- スマートキーは電波を受信し続けた場合、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。（例：テレビやパソコンなどの電気製品の近くに置いているとき）
- スマートキーボタンを押してもスマートキー表示ランプが点灯しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。電池を交換しても直らない場合は、販売店にご相談ください。
- 予備のスマートキーが必要な場合は、販売店にご相談ください。スマートキーは、同じ車に最大 6 個まで登録することができます。
- スマートキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにヤマハ販売店にご相談ください。

JAUA2151

スマートキー操作のしかた



1. スマートキー表示ランプ
2. スマートキーボタン

スマートキーのロック／アンロック切替

スマートキーを使用できる状態（アンロック）にするか、使用できない状態（ロック）にするかの切替方法です。

スマートキーボタンを長押し（1 秒以上）することで、スマートキーの通信モードを切り替えることができます。

- スマートキー表示ランプが 1 回点滅したとき・・・スマートキーがアンロックの状態になりました。（スマートキーシステムを使用できます）
- スマートキー表示ランプが長めに 1 回点滅したとき・・・スマートキーがロックの状態になりました。（スマートキーシステムを使用できません）

スマートキーのロック／アンロック状態を確認する

スマートキーボタンを短押し（1 秒以内）することで、現在の通信モードの状態をスマートキー表示ランプによって確認することができます。

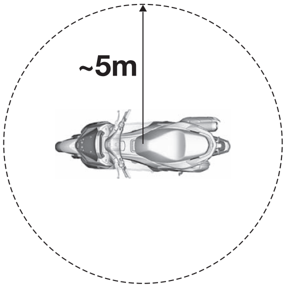
- スマートキー表示ランプが 1 回点滅したとき・・・アンロック状態になっています。
- スマートキー表示ランプが長めに 1 回点滅したとき・・・ロック状態になっています。

アンサーバック機能

スマートキーボタンを押してアンサーバック機能を遠隔操作すると、ブザーが 2 回鳴り、全ての方向指示器が 2 回点滅します。この機能は駐車場やその他の場所で自分の車を見つけるのに便利です。

遠隔操作範囲

スマートキーでアンサーバックの遠隔操作を行うことができる範囲は、およそ下図の範囲です。



要　点

スマートキーは微弱な電波を使用しているため、周囲の状況により操作範囲が変化することがあります。（3-4 ページを参照）

アンサーバックブザーのオンとオフの切替

アンサーバック機能が作動したときに鳴るブザーは、以下の手順に従ってオンまたはオフに切り替えることができます。

1. スマートキーをアンロック状態にして、作動範囲内に移動します。
2. メインスイッチを OFF にし、メインスイッチノブを 1 回押します。
3. ノブを押して 9 秒以内に、もう一度ノブを長押し（5 秒）します。
4. ブザーが鳴ると、設定が完了します。
   - ブザーが 1 回：アンサーバックブザーがオンに設定されました。
   - ブザーが 2 回：アンサーバックブザーがオフに設定されました。

JAUA2271

スマートキーの電池交換のしかた

次のようなときは電池残量が少なくなっているので、新しい電池と交換してください。

- 車両の電源をオンにすると、スマートキーシステム表示灯が約 20 秒間点滅するとき。
- アンサーバック機能が作動しなかったり、作動範囲が狭くなったりするとき。

1. スマートキーシステム表示灯 “ ”

JWA22830

⚠ 警　告

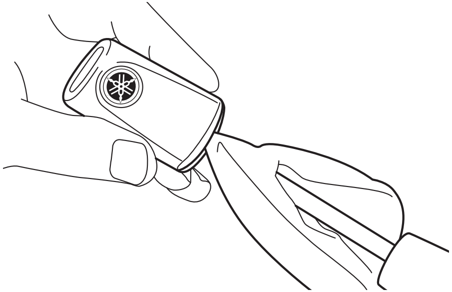
この電池にはリチウム金属や有機電解質などの可燃性物質が含まれています。安全に使用するために、次のことを守ってください。

- **ショートさせないでください。**
- **充電しないでください。**
- **水に濡らさないでください。**
- **変形させたり損傷させたりしないでください。**
- **改造しないでください。**

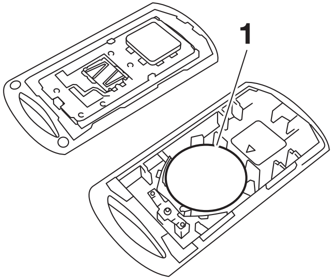
3

電池交換のしかた

1. 図のように、スマートキーのケースを慎重に開けます。開かない場合は、ヤマハ販売店に電池交換を依頼してください。



2. 電池を取り外します。



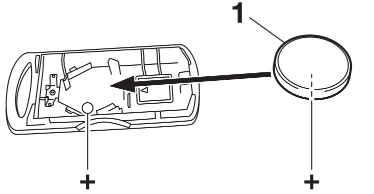
1. 電池

要　点

取り外した電池は、電池の説明書や各自治体の規則に従って処分してください。

3. 電池の向き（表裏）に注意し、図のようにプラス面を下に向けて、新しい電池を取り付けてください。

使用電池：
ボタン電池　CR2032×1 個



1. 電池

4. スマートキーのケースを閉じます。

JCA15785

注　意

- **ドライバーなどにウエスをあてながら、部品を取り外してください。硬いものを直接あてがうと、本体に傷をつけるおそれがあります。**
- **電池の＋極と－極は必ず、正しく取り付けてください。**
- **防水シール部分の傷つきや、ゴミの混入に注意してください。耐水性能の低下や、故障の原因となります。**
- **内部の回路や端子などに触れないでください。故障の原因となります。**
- **電池交換の際、本体に無理な力を加えないでください。**
- **電池交換後は、スマートキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず、確認してください。**

JWA20632

警　告

バッテリーを誤って交換すると、爆発のおそれがあります

- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**
- **バッテリーの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。**
- **バッテリーを廃棄する際は、焼却や断裁を絶対にしないでください。**
- **バッテリーを誤って廃棄したり、高温（100°C 以上）に加熱したりすると、バッテリー内部にガスが発生し、電解液の漏れ、内部短絡（ショート）、発熱、爆発、および激しく発光するおそれがあります。**

電池を直射日光に当てたり、熱源に近づけるなどしないでください。

バッテリー液に触れないでください。化学薬品による火傷の危険があります

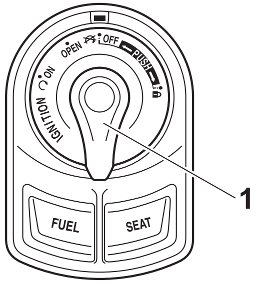
- **この製品にはボタン電池が含まれています。ボタン電池を飲み込んだり、体内に入れると、重度の火傷を負う可能性があり、**

死亡につながるおそれがあります。新しい電池や使用済みの電池は、子供の手の届かない場所に保管してください。

- スマートキーのケースがしっかりと閉じない場合は、製品の使用を中止して、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- ボタン電池を誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

JAUA4570

メインスイッチ



1. メインスイッチノブ

1. スマートキーシステム表示灯 “ ”

メインスイッチは車両の電源のオンとオフ、ハンドルロック操作とシート・フューエルタンクキャップリッドのロック解除を行います。メインスイッチノブを押してスマートキーが認証された後、スマートキーシステム表示灯が点灯している間（約 4 秒）メインスイッチを回すことができます。

JWA18720

警 告

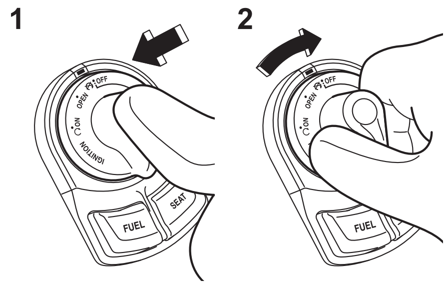
走行中にメインスイッチをOFF、“ ”、“OPEN” の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

要 点

メインスイッチノブを何度も押さないでください。メインスイッチノブを何度も押すと、メインスイッチを保護するためにスマートキーシステムは一時的に無効となり、スマートキーシステム表示灯が点滅します。この場合、表示灯が消灯してからメインスイッチを再び操作してください。

メインスイッチの位置は以下のとおりです。

JAUA4540
ON



1. 押す
2. 回す

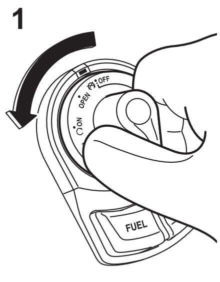
全ての電気回路に電源が供給され、エンジンを始動させることができます。

車両の電源のオンのしかた
1. スマートキーをアンロック状態にして、作動範囲内に移動します。
2. メインスイッチノブを押すとスマートキーシステム表示灯が約4秒間点灯します。
3. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを ON にすると、車両の電源がオンになります。

要　点

スマートキーを使わずに車両の電源をオンにするには 8-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。

JAUA4550
OFF



1. 回す

全ての電気回路がオフになり、エンジンが停止します。

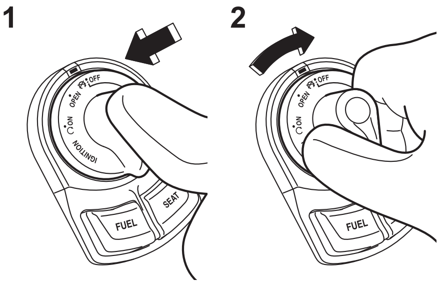
車両の電源のオフのしかた
1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチを OFF にします。
2. 車両の電源がオフになります。

要　点

メインスイッチを OFF にしたとき、スマートキーが認識できない（スマートキーが作動範囲外もしくはオフになっている）場合、ブザーが 3 秒間鳴り、スマートキーシステム表示灯が 30 秒間点滅します。
- スマートキーシステム表示灯が点滅している 30 秒間はメインスイッチを操作できます。
- 30 秒後、車両の電源は自動的にオフになります。
- 車両の電源をすぐにオフにする場合は、メインスイッチノブを 2 秒以内に 4 回押します。

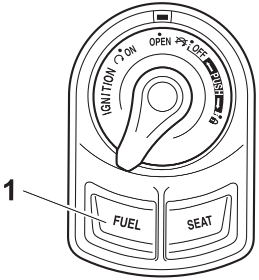
JAUA2310
OPEN

フューエルタンクキャップリッドとシートを開くことができます。
1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
2. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを OPEN にします。

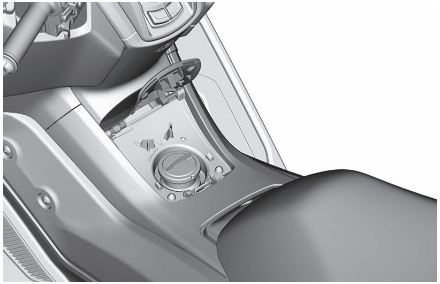


1. 押す
2. 回す

フューエルタンクキャップリッドの開けかた



1. “FUEL” ボタン

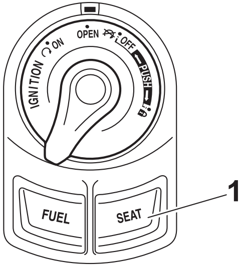


“FUEL” ボタンを押して、フューエルタンクキャップリッドを開けます。
給油後、フューエルタンクキャップリッドを押して閉めます。

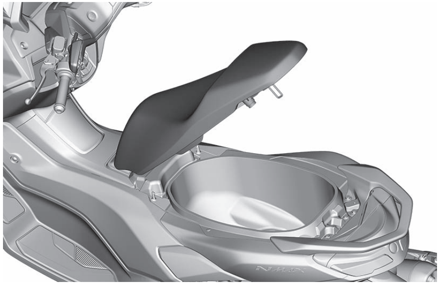
要　点

フューエルタンクキャップの取り外し、取り付けかたについては、5-25 ページを参照してください。

シートの開けかた



1. “SEAT” ボタン



“SEAT” ボタンを押して、シート後部を持ち上げます。

シートを閉めるには、シートを下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要　点

- 走行前に、必ず、シートが確実にロックされているか確認してください。
- シートはメカニカルキーでも開けることができます。5-26 ページを参照）

OPEN 放置警告機能

メインスイッチを OPEN にした状態の車両の電源切り忘れを防ぐため、以下の条件でスマートキーシステムのブザーが鳴ります。

- メインスイッチを OPEN にしたまま 3 分間放置したとき
- メインスイッチを OPEN にしたままスマートキーをロック状態にしたとき
- メインスイッチを OPEN にしたままスマートキーを作動範囲外に移動させたとき

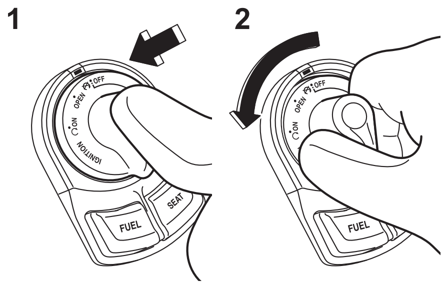
3 分間放置してブザーが鳴ったときは、メインスイッチを OFF または “🔒” にしてください。スマートキーがロック状態、または作動範囲外にあるときは、スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動してください。

要　点

- ブザーは 1 分後に停止します。

JAUA2180

“🔒”（ロック）



1. 押す
2. 押し回し

ハンドルがロックされます。全ての電気回路がオフになります。

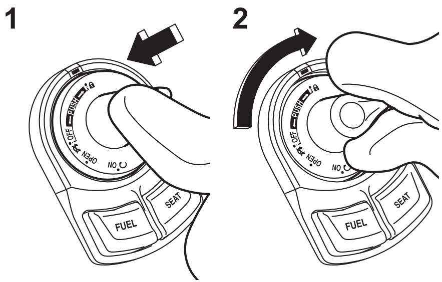
ハンドルロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
3. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチを “🔒” にします。

要　点

ロックしにくいときは、ハンドルを少し右に動かしながらメインスイッチノブを回します。

ハンドルロックの解除のしかた



1. 押す
2. 押し回し

1. スマートキーをアンロック状態にして作動範囲内に移動し、メインスイッチノブを押します。
2. スマートキーシステム表示灯が点灯中にメインスイッチノブを任意の位置に回します。

JAUA2241

アイドリングストップ機能

1. アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”

アイドリングストップ機能とは、車両が停止すると、騒音防止、排ガス抑制や燃費向上のため、エンジンが自動的に停止する機能です。

少しスロットルグリップを回すと、自動的にエンジンが始動して再発進することができます。

JCA23961

注　意

駐車するときや乗車しないときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能をオンにしたままにしておくと、バッテリーが消耗し、エンジンが再始動できなくなることがあります。

要　点

- 通常は車両が停止すると同時にエンジンが停止しますが、渋滞路など、10 km/h 未満で走行している場合は、エンジンの停止までに時間がかかることがあります。
- スターターの回転が弱いなど、バッテリーの電圧が低いと思われるときは、アイドリングストップ機能をオンにしないでください。販売店でバッテリーの点検を受けてください。

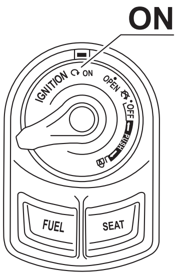
JAUA2190

アイドリングストップの操作手順と作動

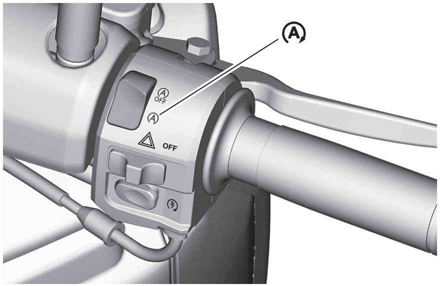
JAUA4510

アイドリングストップの起動

1. メインスイッチをオンにします。



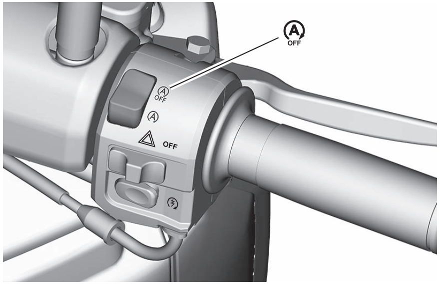
2. アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にします。



3. 以下の条件を満たすと、アイドリングストップが起動してアイドリングストップ表示灯 “Ⓐ” が点灯します。
   - アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にする。
   - エンジン暖機後に、一定時間アイドリング運転する。
   - 10 km/h を越える速度で走行する。

1. 点灯

4. アイドリングストップ機能をオフにしたい場合は、アイドリングストップスイッチを “Ⓐ OFF” の位置にします。



要　点

- バッテリーを保護するため、アイドリングストップが起動しない場合があります。
- アイドリングストップが起動しない場合は、販売店でバッテリーの点検を受けてください。

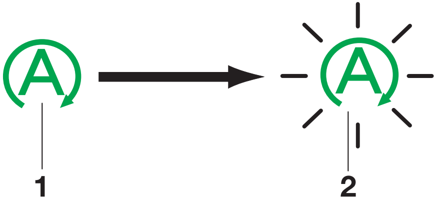
JAUA4530

アイドリングストップによるエンジン停止

以下の条件を満たすと、エンジンが自動的に停止します。

- アイドリングストップスイッチを“Ⓐ”の位置にする。
- アイドリングストップ表示灯“Ⓐ”が点灯している。
- 車両が停止した状態でスロットルグリップが完全に戻っている。

このとき、アイドリングストップ表示灯“Ⓐ”が点灯から点滅に変わり、エンジンがアイドリングストップの状態であることを示します。

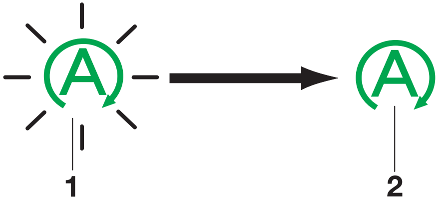


1. 点灯
2. 点滅

JAUA4520

エンジンを再始動する

アイドリングストップ表示灯“Ⓐ”が点滅しているとき、グリップを回すとエンジンが自動的に再始動し、“Ⓐ”表示灯が点滅から点灯に変わります。

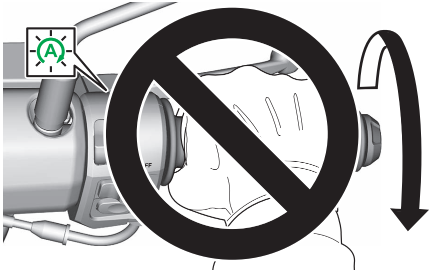


1. 点滅
2. 点灯

JWA18731

⚠ 警 告

アイドリングストップ機能がオンの状態でエンジンが停止しているとき、急激なスロットル操作をしないでください。エンジン始動後、車両が急発進するおそれがあります。



要　点

- サイドスタンドを下ろすと、アイドリングストップ機能がキャンセルされます。
- アイドリングストップ機能が正常に作動しない場合は、ヤマハ販売店で点検整備を受けてください。

JAUA2230

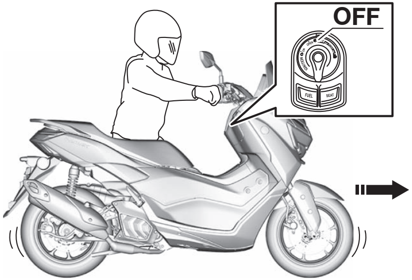
アイドリングストップ機能使用時の注意

誤った操作による事故を防ぐため、以下の警告をよく読み、正しい取り扱いをしてください。

JWA18741

⚠ 警　告

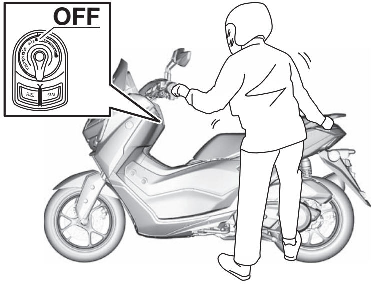
車両を押して歩くときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態のままで車両を押していると、誤ってスロットルグリップを回してエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



JWA18751

⚠ 警　告

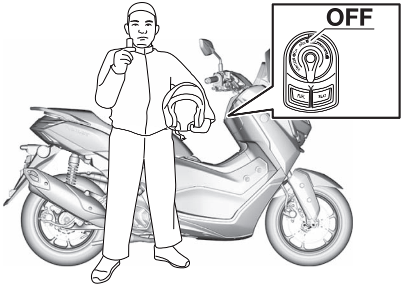
メインスタンドを立てるときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態のままでスタンドを立てると、誤ってスロットルグリップを回してエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



JWA18771

⚠ 警　告

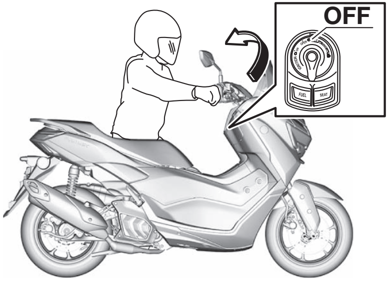
- **車両から離れるときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。**
- **アイドリングストップ機能がオンの状態で駐車しないでください。誤ってアクセルグリップを回したとき、エンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。**



JWA18781

⚠ 警　告

点検整備をするときは、必ずメインスイッチをオフにしてください。アイドリングストップ機能がオンの状態で点検整備を行うと、スロットル操作でエンジンが始動してしまい、車両が発進するおそれがあります。



スマートフォン連携システム

JAUN4400

スマートフィーチャー

JWA21412

⚠ 警 告

- **走行中に注意を怠ると、死亡または重傷を負うおそれがあります。常に道路の状況に注意を払い、運転に集中してください。**
- **設定を変更する場合は、必ず車両を停止してください。**
- **走行中に設定の変更を行うと、操作に気をとられて事故を起こすおそれがあります。**
- **走行中はハンドルから手を離さないでください。**
- **周辺の状況へ注意を払い、安全を確保するために音量レベルを十分にさげてください。**

この車両はスマートフォン連携システムを搭載しており、CCU（コミュニケーションコントロールユニット）を介してスマートフォンと接続することでスマートフィーチャーを使用できます。

- GPS ナビゲーション（Garmin StreetCross アプリが必要です）（4-4 ページ参照）
- 電話（4-6 ページ参照）
- オーディオプレーヤー（5-11 ページ参照）
- スマートフォンプッシュ通知（5-14 ページ参照）
- 天気（5-14 ページ参照）
- 時計自動更新（5-18 ページ参照）
- 言語設定（4-2 ページ参照）

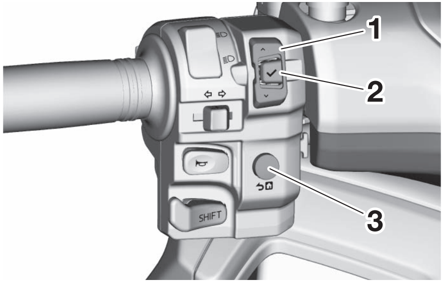
要　点

- スマートフォンの機種、OS バージョンによっては、一部の機能が利用できない場合があります。
また、組み合わされる音楽アプリ、SNS アプリ等によっても正しく機能しない場合があります。
- 車両の電源をオンにした後、CCU とスマートフォンがBluetooth 接続するまでに約 10 秒かかります。この間、スマートフィーチャーは利用できず、関連するメニューはグレー表示になります。

スマートフィーチャーには、インフォテインメント画面のメニューシステムからアクセスします。（5-10 ページ参照）メニューシステムと関連するすべての機能は、“∧”/“∨”/“✔” スイッチと “⮌⌂” ボタンを使用して操作します。（5-21 ページ参照）

はじめに、基本のメニュー操作方法をお読みください。その後、スマートフォンで初期設定と CCU への接続を行ってください。

メニューシステムの操作



1. “∧”/“∨” スイッチ
2. “✔” スイッチ
3. ホームボタン “⮌⌂”

この取扱説明書では、次の用語を使用してメニューの操作を説明しています。

短押し	スイッチもしくはボタンを短く押します
長押し	スイッチもしくはボタンを 1 秒間押します

メニューシステムの基本操作

- “∧”/“∨” スイッチを上下に操作してメニュー項目の選択および切り替えをします。

- “✔” スイッチを短押ししてホーム画面からメニューシステムを開く、または選択したメニューを実行します。
- “↩⌂” ボタンを短押しして3つのホーム画面を切り替える、またはひとつ前の選択メニューシステム画面に戻ります。
- “↩⌂” ボタンを長押ししてメニューシステムを閉じる、またはホーム画面に戻ります。

要　点

ナビゲーションアプリが接続されていない場合は、ナビゲーションホーム画面を表示することはできません。

Yamaha Motorcycle Connect アプリ

Yamaha Motorcycle Connect アプリは、CCU とスマートフォンを接続するための無料のアプリです。このアプリはアプリストアでダウンロードできます。

要　点

- Yamaha Motorcycle Connect アプリを使用するには、Yamaha Motorcycle Connect の利用規約とプライバシーポリシーに同意する必要があります。
- Yamaha Motorcycle Connect アプリは、スマートフォンまたは OS バージョンによっては使用できない場合があります。
- ナビゲーションや機能によっては、スマートフォンで GPS のアクセス許可を“常に許可”に設定する必要があります。
- スマートフォンの動作は機種により異なります。接続、Bluetooth 検出、アプリのアクセス許可などの設定に関しては、個々のスマートフォンで手順を確認してください。

JAU99109

初期設定

ここではスマートフォンと CCU を接続してスマートフィーチャーを使用するための基本的な設定手順を説明します。

1. アプリケーションストアでYamaha Motorcycle Connect アプリをダウンロードし、スマートフォンにインストールします。インストールが完了したら、Bluetooth でアプリと CCU をペアリングし接続します。
2. ナビゲーションシステムを使用するには、Garmin StreetCross アプリ（有償）をダウンロードして、スマートフォンにインストールします。インストールが完了したら、Bluetooth でアプリと CCU をペアリングし接続します。

3. オーディオ、電話、ナビゲーションシステムの音声ルート案内を使用するには、Bluetooth ヘッドセットをスマートフォンにペアリングし接続します。(4-5 ページ参照)

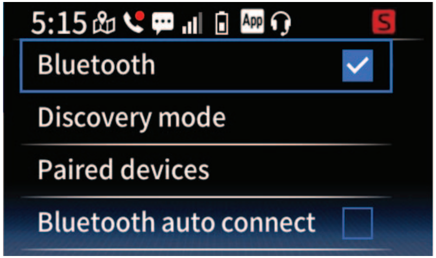
Yamaha Motorcycle Connect アプリのペアリング

JCAN0150

注 意

次のようなときはBluetooth 接続が正常にできないことがあります。
- **強い電波、ノイズのある場所で操作するとき。**
- **近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など、強い電波を発する設備があるとき。**

1. Yamaha Motorcycle Connect アプリをダウンロードして、スマートフォンにインストールします。
2. "✔" スイッチを短押ししてメニューシステムから "Setting（設定）" → "Connection（コネクション）" → "Bluetooth" を開きます。



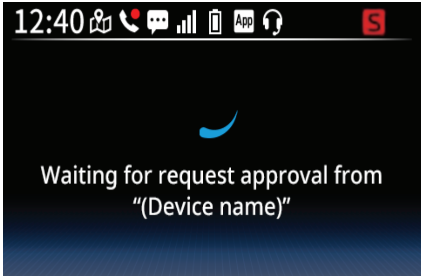
3. "Bluetooth" 表示のとなりにチェックマークが入っていることを確認し、"Discovery mode（デバイス検出モード）" を選択します。

4. Yamaha Motorcycle Connect アプリを開き、" ペアリング " 画面に進んでください。アプリの指示に従って CCU を選択し、ペアリングを行ってください。

要 点

CCU を Discovery mode（デバイス検出モード）にした後は、3 分以内にペアリングを行ってください。3 分以内にペアリングできない場合は手順エラーになりますので、"Discovery mode（デバイス検出モード）" に戻り、再度ペアリングを行ってください。

5. 車両のディスプレイとスマートフォンにパスキーが表示されます。パスキーが同じであることが確認できたら "∧"/"∨" スイッチを操作して "Yes" を選択し、"✔" スイッチを短押しします。



6. スマートフォンにペアリングリクエストが表示されたら許可してください。

要 点

- パスキーが表示されたら 30 秒以内にペアリングを許可してください。30 秒以内にペアリングできない場合はエラーになりま

すので、“Discovery mode（デバイス検出モード）” に戻り、再度ペアリングを行ってください。

- 接続されるとYamaha Motorcycle Connectアプリの“App”アイコンがインフォテインメントディスプレイの上部と “Paired devices（登録済みデバイス）” リストの隣に表示されます。

要　点

- 連絡先情報を車両と共有するためのリクエストがスマートフォンに表示されます。アクセス制限や通知の権限を拒否しても、後からスマートフォンの設定で権限を許可することができます。
- Bluetooth　のペアリング履歴がスマートフォンから削除された場合、再度ペアリングするには、一度 “Paired devices（登録済みデバイス）” から対応するスマートフォンのデバイス名を削除した後に、あらためてペアリングを行ってください。
- Bluetooth　のペアリング履歴が　“Paired devices（登録済みデバイス）” から削除された場合、再度ペアリングするには、一度スマートフォンのペアリング履歴から車両の CCU 名を削除した後に、あらためてペアリングを行ってください。
- Yamaha Motorcycle Connect アプリとCCUが接続されると、メニューシステムはアプリで選択されている言語で表示されるようになります。Yamaha Motorcycle Connect アプリはスマートフォンの言語設定を利用します。スマートフォンの設定言語が CCU でサポートされていない場合の表示言語は英語になります。
- ペアリングが完了すると、自動的にYamaha Motorcycle Connect アプリが開き、CCU に接続します。（この機能はスマートフォンや OS バージョンによって動作しない場合があります。詳細はYamaha Motorcycle Connect アプリをご覧ください。）

ナビゲーションシステム：Garmin StreetCross

JWA21401

⚠ 警　告

- **ナビゲーションシステムを操作する場合は、必ず車両を停止してください。**
- **常に道路の状況に注意を払い、運転に集中してください。**

この車両はスマートフォンのナビゲーションアプリを車両に接続して、画像と音声ルート案内（別途Bluetooth ヘッドセットが必要です）するナビゲーションシステムを使用することができます。ナビゲーションシステムの使用には、Yamaha Motorcycle Connect アプリ（無償）と Garmin 社が提供する Garmin StreetCross アプリ（無償：地図更新は有償）をアプリケーションストアからスマートフォンにダウンロードし、サービスの利用登録を行ってください。

要　点

- Garmin　StreetCross アプリを使用するには、Garmin StreetCross の利用規約に同意する必要があります。
- ヤマハ発動機は、Garmin StreetCross アプリの使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。
- 常に Garmin StreetCross アプリが画面に表示された状態で使用してください。別のアプリ（電話、アラームなど）が画面に表示された場合、スマートフォンがスリープ状態から自動ロックされ、Garmin StreetCross アプリ機能が停止する場合があります。
- Garmin StreetCross アプリの GPS へのアクセス許可を、スマートフォンの設定で “ 常に許可 ” に設定してください。
- Garmin　StreetCross アプリは、スマートフォンまたは OS バージョンによっては使用できない場合があります。

● ルート案内中は、目的地の天気情報を表示します。目的地まで 1 時間以上かかる場合は、 1 時間後に通過予定のルート上の天気情報を表示します。

Garmin StreetCross アプリのペアリング

JCAN0150

注 意

次のようなときはBluetooth 接続が正常にできないことがあります。

- **強い電波、ノイズのある場所で操作するとき。**
- **近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など、強い電波を発する設備があるとき。**

1. Garmin StreetCross アプリをダウンロードして、スマートフォンにインストールします。
2. Yamaha Motorcycle Connect アプリが CCU に接続されていることを確認します。
3. Garmin StreetCross アプリを開き、“ ” をタップしてください。アプリの指示に従って CCU を選択し、接続を行ってください。

要 点

接続が完了すると、ナビゲーションアイコン “ ” がインフォテインメントディスプレイの上部と “ 登録済みデバイス ” リストの隣に表示されます。

Bluetooth ヘッドセットのペアリング

ヘッドセットメーカーの指示に従ってスマートフォンとのペアリングおよび接続を行ってください。Yamaha Motorcycle Connect アプリがヘッドセットとスマートフォンの接続を検知すると、インフォテインメントディスプレイの上部にヘッドセットのアイコンが表示されます。

要 点

ヘッドセットの音声機能を使用すると、スマートフォンと CCU のBluetooth 接続が不安定になる場合があります。詳細はYamaha Motorcycle Connect アプリをご覧ください。

JAU99124

電話

この車両は、スマートフォンとBluetooth ヘッドセットを利用して電話機能を使用することができます。この機能を使用するには、スマートフォンをCCU とBluetooth ヘッドセットのそれぞれに接続してください。(4-2 ページ参照)

電話を受ける

接続されたスマートフォンに電話がかかってくると、接続されたヘッドセットから着信音が鳴り、ディスプレイ表示が着信画面に切り替わります。“∧” スイッチを短押しすると、通話を開始します。“∨” スイッチを短押しすると通話を拒否します。通話中は “📞” アイコンが表示されます。

通話中に “∧” スイッチを押すと通話音量が上がり、“∨” スイッチを押すと通話音量が下がります。“✓” スイッチを短押しすると、通話が終了します。

要　点

- ハンドルスイッチを使用して通話音量を変更できないスマートフォンもあります。その場合は通話中の画面の音量調節アイコンがグレーに表示されます。
- 通話中にかかってきた別の電話を受け付けると、最初の通話は保留になります。
- スマートフォンによっては、通話中にかかってきた別の電話を拒否すると、表示のみが通話者ではなく別の電話の発信者になってしまう場合があります。
- スマートフォンによっては、通話終了アイコンがグレーに表示されたり、“✓” スイッチを押して着信を拒否しても正しく機能せずに通話になってしまう場合があります。その場合は、スマートフォンを直接操作してください。

電話をかける

電話をかける場合は、スマートフォンを操作して発信してください。電話をかけるとメニューシステム内の “ 電話 ” にある通話画面が表示可能になり、“📞” アイコンがインフォテインメントディスプレイの上部に表示されます。通話音声は、接続されたBluetooth ヘッドセットから再生されます。

JWA21420

⚠ 警 告

- **走行中はスマートフォンを操作しないでください。**
- **走行中はハンドルから手を離さないでください。**
- **常に道路の状況に注意を払い、運転に集中してください。**
- **周辺の状況へ注意を払い、安全を確保するために音量レベルを十分にさげてください。**

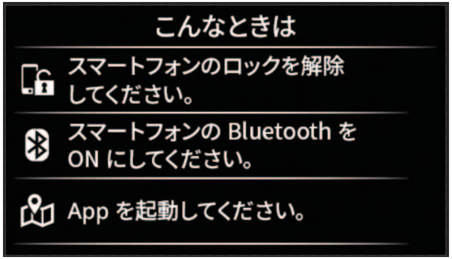
4

JAU99213

接続エラーが発生したときは

スマートフォンやYamaha Motorcycle Connect アプリおよび Garmin StreetCross アプリと CCU の接続にエラーが発生した場合、以下の画面が表示されます。

“ 詳細 ” を選択し、画面の指示に従って接続を確認してください。

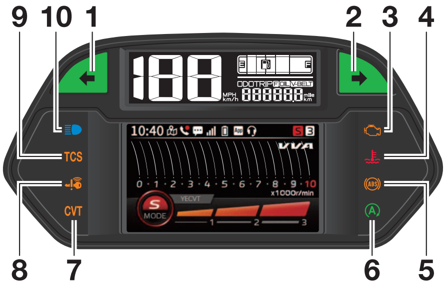


<u>エラーが解消しない場合は、次のことを試してください。</u>

1. 車両の電源をオフにします。20 秒後、再度車両の電源をオンにしてください。
2. スマートフォンのBluetooth をオフにします。その後、再度車両の電源をオンにしてください。
3. スマートフォンと CCU の両方からBluetooth のペアリング履歴を削除して、再度ペアリングを行ってください。
4. 関連するスマートフォンのアプリをすべて再起動してください。

JAU7712A

警告灯と表示灯



1. 方向指示器表示灯（左）“⇦”
2. 方向指示器表示灯（右）“⇨”
3. エンジン警告灯 “ ”
4. 水温警告灯 “ ”
5. ABS 警告灯 “ ”
6. アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”
7. YECVT 警告灯 “CVT”
8. スマートキーシステム表示灯 “ ”
9. トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”
10. ヘッドライト上向き表示灯 “ ”

JAU88900

方向指示器表示灯 “⇦” / “⇨”

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU88690

ヘッドライト上向き表示灯 “ ”

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

JAU88880

水温警告灯 “ ”

エンジン冷却水が規定温度以上になったとき、警告灯が点灯します。この場合は、エンジンを止めて冷やしてください。
ラジエターファンのあるモデルは、ラジエター内の冷却水の温度に応じて、ラジエターファンが自動的に作動します。

要　点

車両の電源をオンにしたとき、警告灯が数秒間点灯し、その後消灯します。警告灯が点灯しないときや、点灯したままになっているときは、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JCA10022

注 意

エンジンがオーバーヒートした場合、エンジンの使用を続けないでください。

JAU88712

エンジン警告灯 “ ”

エンジン異常が発生したとき、警告灯が点灯または点滅します。警告灯が点灯または点滅したときは、ヤマハ販売店で車載故障診断装置の点検を受けてください。

要　点

車両の電源をオンにすると、警告灯が数秒間点灯し、その後消灯します。警告灯が点灯しない場合や、点灯したままになっている場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

JCA26820

注 意

エンジン警告灯が点滅したときは、低速で走行してください。マフラーの中の触媒装置が損傷する可能性があります。

要　点

このエンジンは自己診断機能により繊細に監視され、排気ガス制御システムの劣化や故障を検知します。そのため、改造、整備不良や不適切な車両の使用により、エンジン警告灯が点灯する場合があります。故障以外の原因による警告灯の点灯を避けるために、以下のことを守ってください。

- エンジンコントロールユニットのソフトウェアを書き換えないでください。
- エンジンコントロールユニットに影響を与えるような電装アクセサリーを使用しないでください。
- 標準仕様以外のスパークプラグ、フューエルインジェクターを使用したり、サスペンション、排気系などの社外アクセサリーを使用したりしないでください。
- ドライブベルト、プーリー（装備されている場合）、ホイール、タイヤなどの仕様を変更しないでください。

5

- O2 センサー、エアインダクションシステム、触媒や EXUP などの排気系部品を外したり、改造したりしないでください。
- V ベルトやドライブベルトを正しくメンテナンスしてください。(装備されている場合)
- タイヤの空気圧を正しくメンテナンスしてください。
- スロットルグリップの開閉を過度に繰り返す、バーンアウトやウィーリーなどの行為はしないでください。

JAU88890

ABS 警告灯 “ABS”

車両の電源をオンにするとABS警告灯が点灯し、走行し始めると消灯します。走行中に警告灯が点灯した場合、ABS が正しく機能しない可能性があります。

JWA16043

警告

10 km/h 以上の速度で走行しても警告灯が消灯しない、または走行中に警告灯が点灯したとき

- **急ブレーキなどでホイールがロックしないよう、慎重にブレーキをかけてください。**
- **直ちにヤマハ販売店でブレーキシステムの点検を受けてください。**

要　点

メインスタンドを立てた状態でエンジンの回転を上げると、ABS 警告灯が点灯することがあります。

JAU88931

トラクションコントロールシステム表示灯 “TCS”

トラクションコントロールシステムが作動すると点滅し、オフになると点灯します。(5-23 ページを参照)

要　点

車両の電源をオンにしたとき、表示灯が数秒間点灯し、その後消灯します。車両の電源をオンにしたときに表示灯が点灯しない場合や、点灯したままになっている場合は、ヤマハ販売店で車の点検を受けてください。

JAUA2390

YECVT 警告灯 “CVT”

YECVT 警告灯は以下の条件で点灯します。

- YEVCT システムに異常が発生したとき
- バッテリー電圧が 10 V 以下になったとき
- FI システムに異常が発生したとき
- スマートキーの通信エラーによりエンジンが停止したとき
- エンジン始動中に、サイドスタンドを下ろしたことによりエンジンが停止したとき

1. YECVT 警告灯 “CVT”

要　点

- 車両の電源をオンにしたとき、YECVT 警告灯が数秒間点灯し、その後消灯します。警告灯が点灯しない場合や、点灯したままになっている場合は、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- 走行中に車両の電源をオフにした場合、もしくは走行中に何らかの異常によりエンジンが停止した場合、YECVT 警告灯は点灯もしくは点滅します。

JCA28570

注意

YECVT 警告灯が点灯したときは、すみやかに安全な場所に車を停車させ、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

JAUN2772

スマートキーシステム表示灯 “ ”

スマートキーシステムが正常に作動している場合、この表示灯は消灯しています。スマートキーシステムにエラーがある場合やマートキーシステムにエラーがある場合や車両とスマートキーが通信しているとき、またはスマートキーに関連する操作が行われたとき、この表示灯は点滅します。

要　点

走行中、スマートキーが検知できない場合（スマートキーがポケットから落ちた場合や、強い電波、ノイズのある場所にある場合など）も、スマートキーシステム表示灯が点滅します。スマートキーの場所と状態を確認してください。

JAUN2831

アイドリングストップ表示灯 “Ⓐ”

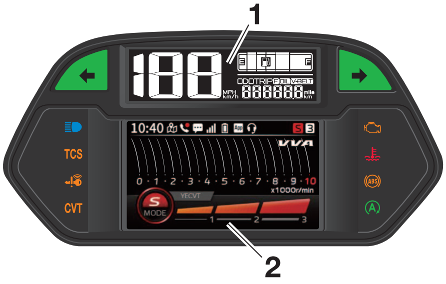
アイドリングストップが起動すると点灯し、エンジンが自動的に停止すると点滅します。

要　点

アイドリングストップスイッチを “Ⓐ” の位置にしても、表示灯が点灯しない場合があります。（3-13 ページ参照）

JAU99271

デュアルディスプレイ



1. メインディスプレイ
2. インフォテインメントディスプレイ

JWA21412

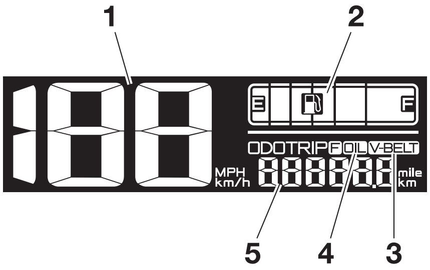
⚠ 警 告

- **走行中に注意を怠ると、死亡または重傷を負うおそれがあります。常に道路の状況に注意を払い、運転に集中してください。**
- **設定を変更する場合は、必ず車両を停止してください。**
- **走行中に設定の変更を行うと、操作に気をとられて事故を起こすおそれがあります。**
- **走行中はハンドルから手を離さないでください。**
- **周辺の状況へ注意を払い、安全を確保するために音量レベルを十分にさげてください。**

この車両のマルチファンクションメーターは 2 つのディスプレイで構成されています。メインディスプレイは車両の操作に必要な基本情報を表示します。インフォテインメントディスプレイは車両情報、メニューシステムやスマートフィーチャーなどの情報を表示します。

JAUA4820

メインディスプレイ



1. スピードメーター
2. 燃料計
3. V ベルト交換表示 “V-BELT”
4. エンジンオイル交換表示 “OIL”
5. オドメーター／トリップメーター

要　点

- メインディスプレイの表示単位は、インフォテインメントディスプレイのメニューシステムから変更することができます。
- 走行前に必ずキロメートル単位になっていることを確認してください。

スピードメーター

車両の速度を表示します。

燃料計

フューエルタンク内の燃料残量を示します。燃料が減るにつれて、表示セグメントが “F”（満）から “E”（空）に向けて減っていきます。最後のセグメントが点滅を始めたときは、速やかに給油してください。

JCAE0121

注 意

燃料を完全に使い切らないでください。触媒が損傷するおそれがあります。

エンジンオイル交換表示 “OIL”

この表示は初回 1000 km 走行時、2 回目は 6000 km 走行時、以降は 6000 km 走行すると点滅します。“OIL” が点滅したら、エンジンオイルを交換してください。（5-17 ページ参照）

V ベルト交換表示 “V-BELT”

この表示は 20000 km 走行毎に点滅します。“V-BELT” が点滅したら、ヤマハ販売店で V ベルトを交換してください。

要　点

交換をした後にオイル交換表示と V ベルト交換表示を消灯するには、インフォテインメントディスプレイのメニューシステムを開き、“ メンテナンスリセット ” 機能から消灯してください。（5-17 ページ参照）

オドメーター／トリップメーター

このディスプレイ表示はオドメーター (ODO)、トリップメーター (TRIP)、フューエルトリップメーター (TRIP F) が含まれています。

これらのメーターは一度に表示されます。表示されたメーターはインフォテインメントディスプレイのメニューシステムを開き、“ODO/TRIP” 機能をからリセットできます。（5-11 ページ参照）

要　点

トリップメーターはインフォテインメントディスプレイのメニューシステムを開き、“ 設定 ” → “ インフォメーション / リセット ” → “ トリップリセット ” からでもリセットできます。（5-17 ページ参照）

<u>オドメーター (ODO)</u>

車両の総走行距離を表示します。

要　点

オドメーターは最大値 999999 で固定され、リセットできません。

<u>トリップメーター (TRIP)</u>

“TRIP” は、ゼロにリセットされてからの走行距離を表示します。

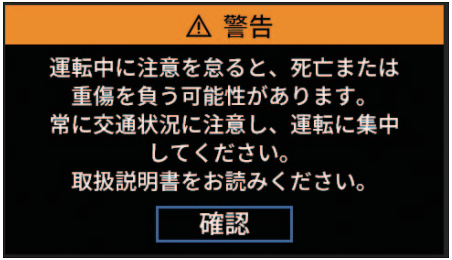
“TRIP” は、9999.9 に到達するとゼロにリセットされ、カウントを続けます。

フューエルトリップメーター (TRIP F)
燃料が予備レベル以上の時は、“TRIP F” は “_ _._” と表示されます。燃料タンクの予備レベルに達すると、“TRIP F” は、その時点からの走行距離を計測し始めます。給油後ある程度の距離を走行すると自動的にリセットされます。

JAUA2035

インフォテインメントディスプレイ

インフォテインメントディスプレイにより、運転者は簡単にスマートフィーチャーと車両情報設定にアクセスできます。操作は “∧”/“∨”/“✓” スイッチ、“↩⌂” ボタンを使って行います。(4-1 ページ参照)



メインスイッチをオンにすると、インフォテインメントディスプレイに警告文が表示されます。確認したら、“✓” スイッチを短押ししてください。ディスプレイは前回表示したホーム画面に切り替わります。

要　点

- このモデルは TFT 液晶により、様々な光源下での良好なコントラストおよび見やすさを実現しています。場合によっては少し見えにくい部分が出ることもあります。
- インフォテインメントディスプレイの明るさは、メニューシステムの設定で調整できます。(5-18 ページ参照)
- インフォテインメントディスプレイが高温になると、TFT 液晶保護のために自動的に暗くなり、明るさ調整もできなくなります。
- 表示単位は、キロメートルとマイル、°C（摂氏）と °F（華氏）を切り替えることができます。(5-19 ページ参照)
- 走行前に必ずキロメートル単位になっていることを確認してください。
- ナビゲーションシステムの表示単位は、接続しているスマートフォンの設定単位を表示させています。

ホーム画面

インフォテインメントディスプレイには 3 つのホーム画面があります。

- ビジュアライザーホーム画面（5-5 ページ参照）
- ナビゲーションホーム画面（5-7 ページ参照）
- 車両情報ホーム画面（5-8 ページ参照）

“↩⌂” を短押しするとホーム画面が切り替わります。
ホーム画面の表示中に “✓” スイッチを短押しするとメニューシステムが開きます。

ビジュアライザーホーム画面

ビジュアライザーホーム画面には “ タコメーター /ECVT”、“ エコ ”、“ スピード ” の 3 種類の画面があります。ビジュアライザーホーム

5

画面を選択するには、“✔” スイッチを短押ししてメニューシステムから “ メーター表示 ” を開きます。

要　点

ビジュアライザーホーム画面を表示中に “✔” スイッチを長押しするとメニューシステム内の “ メーター表示 ” にショートカットします。

タコメーター /ECVT

この画面には、タコメータービジュアライザー、走行モードディスプレイ、シフトダウン状態が表示されています。

タコメータービジュアライザー
タコメータービジュアライザーは毎分のエンジン回転数を表示します。

要　点

タコメータービジュアライザーは通常のタコメーターのように詳細に表示されません。参考情報としてご利用ください。

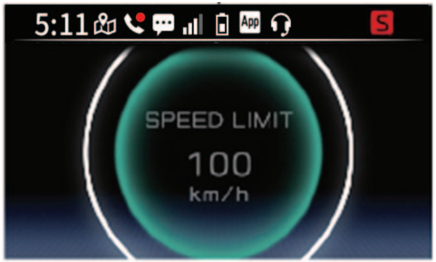
走行モードディスプレイ
現在選択されている走行モード (“S モード ”/“T モード ”) を表示します。

シフトダウンディスプレイ
現在のシフトダウン状態を表示します。シフトダウンの段数に応じてバーの表示が増加します。

エコ

瞬間燃費と平均燃費を表示します。

スピード



走行中の車両速度に応じて緑色の円が拡がって表示されます。制限速度情報は文字と白線で表示されます。車両速度が制限速度に達した場合は円の色が緑色からオレンジ色に変わります。

要　点

制限速度情報は Garmin StreetCross アプリから取得しています。Garmin StreetCross アプリを使用してない場合、もしくは制限速度情報が取得できない場合は、制限速度の文字と外側の白線は表示されません。

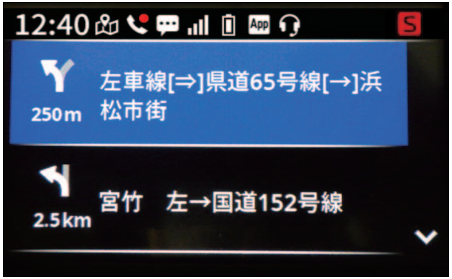
ナビゲーションホーム画面

ナビゲーションには“標準表示”、“ターンリスト表示”、“ターンバイターン表示”の 3 種類のルート案内表示があります。

標準表示

“標準表示”では“∧”/“∨”スイッチを使うと、画面が拡大縮小します。

ターンリスト表示



“ターンリスト表示”では“∧”/“∨”スイッチを使うと、案内リストが上下します。

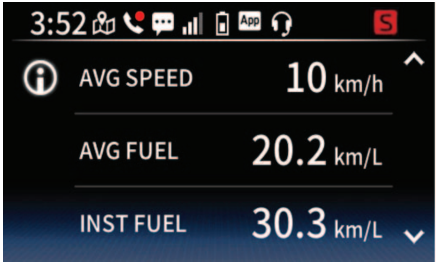
ターンバイターン表示

“✔”スイッチを短押ししてメニューシステムから“ナビゲーション”→“表示切替”を開くと、ルート案内表示を変更することができます。（5-12 ページ参照）

要　点

- ナビゲーションホーム画面を表示中に“✔”スイッチを長押しすると、メニューシステムの“ナビゲーション”にショートカットします。
- Bluetooth の通信が不安定になると、ナビゲーション画面が自動的にターンバイターン表示に切り替わったり、地図を読み込みの中の画面になったりします。通信が回復すると元のナビゲーション表示に戻ります。
- スマートフォンによってはルート案内中に通話機能を使用すると、ナビゲーション表示に戻った時に接続エラーの画面が表示される場合があります。その場合は、“接続エラーが発生したときは”を確認してください。（4-7 ページ参照）
- 接続しているスマートフォンのAIアシスタント機能が無効になっている時にヘッドセットを接続すると、ナビゲーションホーム画面で接続エラーの画面が表示される場合があります。（iOS のみ）

車両情報ホーム画面



車両情報画面は以下の情報を表示します。
- 平均速度 (AVG SPEED)
- 平均燃費 (AVG FUEL)
- 瞬間燃費 (INST FUEL)
- トリップタイマー (TRIP TIME)
- 水温計 (COOLANT)
- バッテリー電圧 (BATTERY)

“∧”/“∨” スイッチを使って表示項目をスクロールします。

“✔” スイッチを短押ししてメニューシステムから “ 設定 ” → “ インフォメーション / リセット ” → “ 車両情報 ” を開くと、個別に項目のリセットができます。(5-16 ページ参照)

要　点

車両情報ホーム画面を表示中に “✔” スイッチを長押しするとメニューシステムの “ 設定 ” → “ インフォメーション / リセット ” → “ 車両情報 ” にショートカットします。

平均速度 (AVG SPEED)
最後にリセットしてからの平均速度を表示します。

平均燃費 (AVG FUEL)
表示単位がキロメートルの場合、平均燃費は “km/L” または “L/100km” に設定できます。(5-19 ページ参照) 表示単位がマイルの場合、平均燃費は “MPG” で表示されます。

瞬間燃費 (INST FUEL)
表示単位がキロメートルの場合、瞬間燃費は “km/L” または “L/100km” に設定できます。(5-19 ページ参照) 表示単位がマイルの場合、瞬間燃費は “MPG” で表示されます。

要　点

瞬間燃費は一般的な参照値としてのみ使用してください。この数値から、現在の燃料で走行できる距離を推定しないでください。

トリップタイマー (TRIP TIME)
表示がリセットされた以降にメインスイッチがオンになった状態の総時間を表示します。

水温計 (COOLANT)
冷却水の温度を、–30 °C から 125 °C まで 1 °C 刻みで表示します。

要　点

- 冷却水の温度が–30 °C未満の場合、“–30”と表示されます。
- 冷却水の温度が 125 °C を超えると、冷却水温度計は “Hi” が点滅表示され、水温警告灯が点灯します。

バッテリー電圧 (BATTERY)
現在のバッテリー電圧を表示します。

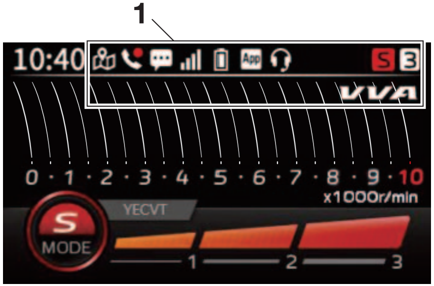
要　点

バッテリー電圧が 16.0 V 以上もしくは 9.0 V 以下の場合は、“--.-” が表示されます。

時計

この時計は 12 時間表示です。時刻はスマートフォンを接続すると自動的に更新されます。また時刻は手動で調整することもできます。“✔” スイッチを短押ししてメニューシステムから “ 設定 ” → “ 時計 ” → “ 手動調整 ” を開いてください。(5-18 ページ参照)

表示アイコン



1. 表示アイコン

ナビゲーション接続表示アイコン "🗺"

Garmin StreetCross アプリが接続されると表示されます。

電話表示アイコン "📞"/"📞"

着信中または通話中は緑色のアイコン、不在着信があった場合は赤色のアイコンが表示されます。メニューシステムを開き、" 通知 " から不在着信を確認すると不在着信のアイコンは消灯します。(5-14 ページ参照)

通知表示アイコン " 💬 "

接続されているスマートフォンが SNS やメールなどの通知を受信したときに表示されます。車両の電源をオフにするか、メニューシステムを開いて " 通知 " から通知を表示するとアイコンは消灯します。

要　点

- この機能は、スマートフォンの Yamaha Motorcycle Connect アプリが CCU に接続されている場合にのみ使用できます。
- 通知を表示するには、スマートフォンで Yamaha Motorcycle Connect アプリが通知にアクセスすることを許可する設定が必要になります。

ネットワーク接続表示アイコン "📶"

接続されているスマートフォンのネットワーク接続状態を示します。

アイコンなし：スマートフォンが接続されていません。

📶：スマートフォンは接続されていますが、ネットワークに接続されていません。

📶：スマートフォンが接続されており、ネットワークに接続されています。アイコンのセグメントは電波の強度を示します。

要　点

スマートフォンによっては、ネットワークに接続できていても電波の強度が表示されない場合があります。

スマートフォンのバッテリー残量レベル表示アイコン " 🔋 "

接続されているスマートフォンのバッテリー残量レベルを示します。

アイコンなし：スマートフォンが接続されていません。

🔋：中央のバーが上下に動き、バッテリーの残量を示します。

🔋：USB ジャックに接続されているスマートフォンが充電中です。

要　点

アイコンのバッテリー残量表示は接続しているスマートフォンのバッテリー残量表示と一致していない場合があります。

スマートフォン連携アプリ表示アイコン "App"

Yamaha Motorcycle Connect アプリが車両に正常に接続されると表示されます。

App: 接続しているスマートフォンが高温になるとアイコンが黄色に変わります。

要　点

マルチファンクションメーターと CCU の間に通信エラーが発生した場合は、アイコンが黄色に点滅します。

ヘッドセット接続表示アイコン " 🎧 "

Bluetooth ヘッドセットが車両に接続されると表示されます。

要　点

スマートフォンによっては、この表示は着信中に消灯する場合があります。

走行モードアイコン “T”/“S”
現在選択されている走行モード (“S モード”/“T モード”) を表示します。

シフトダウンインジケーターアイコン “-”/“1”/“2”/“3”
現在のシフトダウン状態を表示します。シフトダウンの段数に応じて数字が増加します。

要　点

シフトダウンができなかった場合、現在のステップ番号が点滅します。シフトダウン状態になく、ステップ 1 へのシフトダウンができなかった場合、“-” が点滅します。

VVA（可変バルブ機構）アイコン “VVA”（タコメータービジュアライザーのみ）
この車には、低速域から高速域まで優れた燃費と加速を実現する VVA が装備されています。
このアイコンは、タコメータービジュアライザーが表示されているときに、VVA システムが高速範囲に切り替わったときに点灯します。

JAUA2064

メニューシステム

この車両のメニューシステムは “✔”/“∧”/“∨” スイッチと “↩⌂” ボタンで操作を行います。（5-21 ページ参照）

メニューシステムの基本操作
- “✔”　スイッチを短押ししてホーム画面からメニューシステムを開く、または選択したメニューを実行します。
- “∧”/“∨”　スイッチを上下に操作してメニュー項目の選択および切り替えをします。
- “↩⌂” ボタンを短押ししてホーム画面を切り替える、またはひとつ前の選択メニュー画面に戻ります。
- “↩⌂” ボタンを長押ししてメニューシステムを閉じる、またはホーム画面に戻ります。

メニューシステムの主な機能は次の通りです。

電話	着信中と通話中の電話機能を表示します。（5-11 ページ参照）
音楽	接続しているスマートフォンのオーディオプレーヤーを表示します。（5-11 ページ参照）
ODO/TRIP	メインディスプレイにあるインフォメーションディスプレイのリセットと表示切替をします。（5-11 ページ参照）
メーター表示	ビジュアライザーホーム画面の選択をします。（5-12 ページ参照）
ナビゲーション	ナビゲーションシステムのメニューを表示します。（5-12 ページ参照）
通知	受信した通知と不在着信を表示します。（5-14 ページ参照）
天気	天気情報を表示します。（5-14 ページ参照）
設定	車両の操作に関連する設定を切り替えます。（5-15 ページ参照）

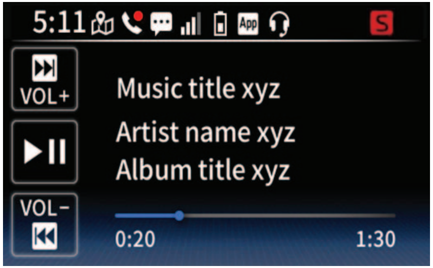
メニュー → 電話

このメニューを選択すると着信／通話画面が開きます。相手の名前と通話時間が表示されます。
通話音量は “∧”/“∨” スイッチで調節します。
“✔” スイッチを短押しすると、通話は終了します。

要　点

スマートフォンの機種によっては、スイッチ操作による音量調節や通話終了ができない場合があります。その場合は、画面左側の音量調節と通話終了表示がグレーで表示されますので、スマートフォンを直接操作してください。

メニュー → 音楽

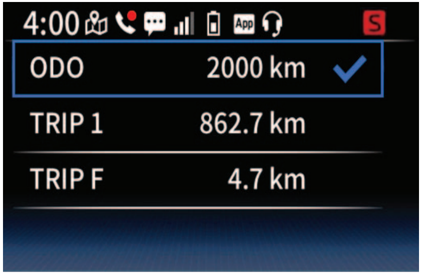


接続しているスマートフォンのオーディオプレーヤーを表示します。
音量を調節するには、“∧”/“∨” スイッチを短押しします。
前の曲／次の曲に飛ばすには、“∧”/“∨” スイッチを長押しします。
再生／一時停止をするには、“✔” スイッチを短押しします。

要　点

- スマートフォンのオーディオプレーヤーアプリの楽曲情報を表示します。
- スマートフォンやオーディオプレーヤーアプリによっては、オーディオプレーヤーが自動的に再生したり、楽曲情報が表示されなかったり、前の曲／次の曲などの機能が使用できない場合があります。

メニュー → ODO/TRIP



メインディスプレイ上のオドメーター／トリップメーターに表示する項目を設定します。
選択した項目をハイライト表示して “✔” スイッチを短押しすると、メインディスプレイ上の “ODO”/“TRIP” の場所に選択した項目が表示され、直前のメニュー表示に戻ります。
選択した項目をハイライト表示して “✔” スイッチを長押しするとリセットされます。

要　点

- オドメーターはリセットできません。
- メニューから “ODO/TRIP” をハイライト表示させた状態で “✔” スイッチを長押しするとすべてのトリップメーターがリセットされます。

メニュー → メーター表示

ビジュアライザーホーム画面に表示するビジュアライザーを選択します。

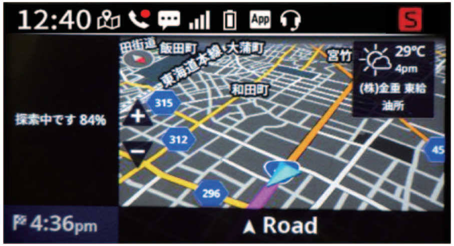
メニュー → ナビゲーション

ナビゲーションシステムで操作できる項目が表示されます。

- 案内中止
- 次の経由地点をスキップ
- 自宅
- 職場
- お気に入り
- 近くのガソリンスタンド
- 表示切替

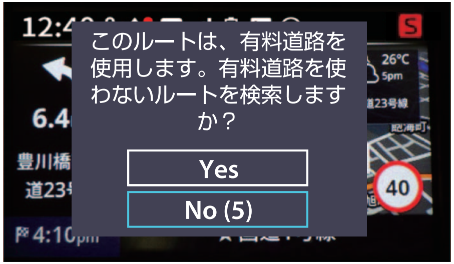
要　点

上記以外のナビゲーションシステムの操作は、スマートフォンの Garmin StreetCross アプリを直接操作してください。



目的地を選択している時はナビゲーションホーム画面が開き、ルート案内が表示されます。

ルート案内中は、次のオプションが使用できます。
新規目的地に設定：現在のルート案内を中止して、新しい目的地を設定します。
次の経由地点に追加：現在案内中の目的地の手前に経由地を追加します。
目的地に追加：現在案内中の目的地の後に、新しい目的地を追加します。



ルート上に有料道路がある場合は、有料道路を使用しないルートを選択するか表示されます。“Yes” を選択すると有料道路を使用し

ないルートを探索します。“No” を選択すると有料道路を使用するルートで案内を開始します。

要　点

10 秒間何も選択しないと、自動的に有料道路を使用するルートで案内を開始します。

メニュー → ナビゲーション → 案内中止

ルート案内を中止して、ナビゲーションホーム画面を開きます。

メニュー → ナビゲーション → 次の経由地をスキップ

次の目的地をスキップして、ナビゲーションホーム画面を開きます。

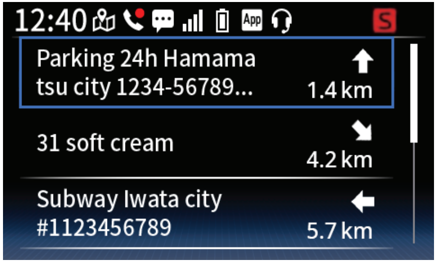
メニュー → ナビゲーション → 自宅

自宅に戻るルート案内が設定されます。（自宅は Garmin StreetCross アプリで事前登録が必要です。）

メニュー → ナビゲーション → 職場

職場に行くルート案内が設定されます。（職場は Garmin StreetCross アプリで事前登録が必要です。）

メニュー → ナビゲーション → お気に入り

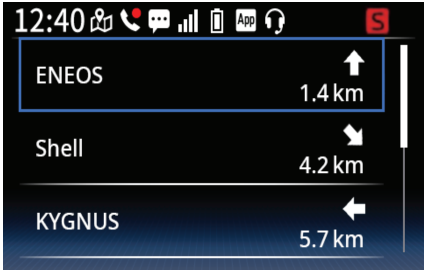


お気に入りに登録された目的地と現在地からの距離が表示されます。（お気に入りは Garmin StreetCross アプリで事前登録が必要です。）

要　点

ルート案内中は現在の進行方向を上向き矢印として、保存された目的地の方角を矢印の向きで表示します。

メニュー → ナビゲーション → 近くのガソリンスタンド



近くのガソリンスタンドと現在地からの距離が表示されます。

要　点

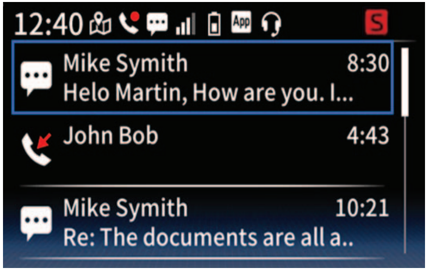
ルート案内中は現在の進行方向を上向き矢印として、ガソリンスタンドの方向を矢印で表示します。

5

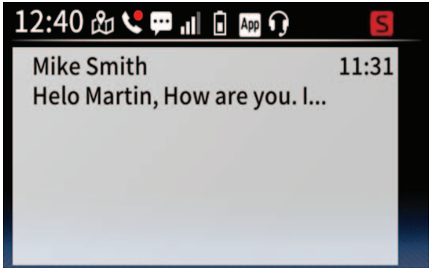
メニュー → ナビゲーション → 表示切替

ナビゲーションの表示を切り替えます。（標準表示、ターンリスト表示、ターンバイターン表示）設定後は、ナビゲーションホーム画面が選択された形式で表示されます。

メニュー → 通知



接続したスマートフォンからの通知／不在着信を表示します。（CCU に接続後の通知／不在着信のみ）



通知／不在着信を選択すると、インフォテインメントディスプレイで内容の確認ができます。通知／不在着信を確認すると、通知表示アイコンと不在着信表示アイコンが消灯します。

要　点

- スマートフォンまたはアプリによっては、通知機能が使用できない場合があります。
- 通知／不在着信は最大 30 件まで保存されます。上限に達すると、古い通知から削除されます。
- 長いメッセージだと、すべてを表示できない場合があります。
- 走行中はメッセージを開いたり読んだりすることはできません。
- 通知に表示される時刻は、スマートフォンに表示されている時刻と異なる場合があります。

メニュー → 天気

現在地の天気情報が表示されます。“∧”/“∨” スイッチを短押しすると天気情報の予報間隔が変更できます。（時間単位／日単位）

要　点

この天気情報はナビゲーションホーム画面の天気情報と異なる場合があります。

メニュー → 設定

以下の設定項目を表示します。

トラクションコントロール	トラクションコントロールのオン／オフを切り替えることができます。(5-15 ページ参照)
コネクション	Bluetooth 接続の設定ができます。(5-15 ページ参照)
インフォメーション / リセット	車両情報をリセットします。(5-16 ページ参照)
時計	時刻調整／自動調整の設定ができます。(5-18 ページ参照)
明るさ	インフォテインメントディスプレイの明るさ調整ができます。(5-18 ページ参照)
単位	ディスプレイに表示する単位の変更ができます。(5-19 ページ参照)
システム情報	CCU のユニット ID を表示します。(5-19 ページ参照)
法的情報	ソフトウェアのサードパーティーライセンスを表示します。(5-20 ページ参照)

メニュー → 設定 → トラクションコントロール

“✔” スイッチを短押ししてトラクションコントロールのオン／オフを切り替えることができます。詳細は 5-23 ページを参照してください。

要　点

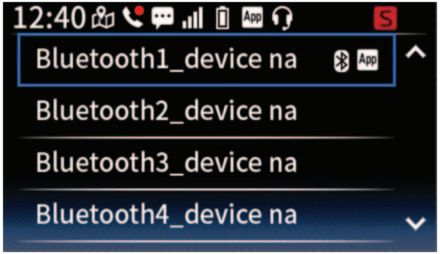
メインスイッチをオンにすると、毎回トラクションコントロールのチェックマークが入った状態になります。

メニュー → 設定 → コネクション → Bluetooth

<u>Bluetooth</u>
CCU のBluetooth 接続のオン／オフを切り替えることができます。チェックマークが入っていれば、Bluetooth 接続はオンの状態です。

<u>デバイス検出モード</u>
スマートフォンとのペアリングを行うために、CCU をデバイス検出モードにします。Bluetooth のペアリング方法については 4-3 ページを参照してください。

登録済みデバイス



ペアリング登録されているスマートフォンが表示されています。Yamaha Motorcycle Connect アプリ表示アイコンがスマートフォンデバイスの隣に表示されていれば、Yamaha Motorcycle Connect アプリは現在 CCU に接続されています。Bluetooth 表示アイコンがスマートフォンデバイスの隣に表示されていれば、Garmin StreetCross アプリは現在 CCU に接続されています。

要　点

ペアリング登録できるスマートフォンは最大 8 台です。

スマートフォン名を選択すると次の操作ができます。

ペアリング削除：選択されたスマートフォンを CCU から削除します。
接続：選択されたスマートフォンを接続します。
切断：選択されたスマートフォンの接続を切断します。

要　点

Bluetooth 自動接続に設定していると、切断後もすぐに自動接続される場合があります。

Bluetooth 自動接続

Bluetooth 自動接続のオン／オフを切り替えます。チェックマーク入っていれば自動接続はオンになっています。自動接続がオンの時は、CCU は最後に接続されたスマートフォンと自動的に接続されます。最後に接続されたスマートフォンが無い場合は、登録済みデバイスリストの中の 1 台と接続されます。

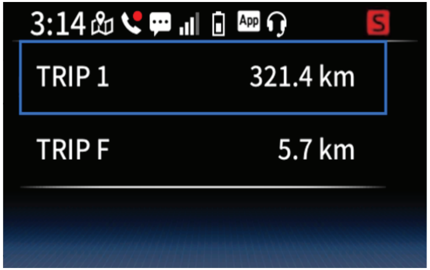
要　点

Bluetooth 自動接続がオフの時は、ペアリング登録されているスマートフォンと手動接続ができます。

メニュー → ⚙ 設定 → インフォメーション / リセット

トリップメーター、メンテナンストリップメーター、車両情報の確認とリセットができます。また関連するその他の項目を工場出荷時の状態に一括リセットできます。

トリップリセット

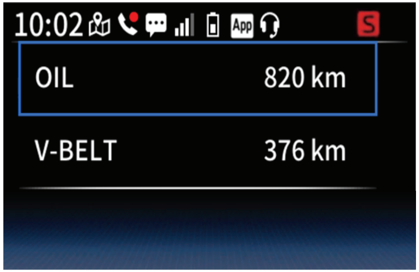


メインディスプレイのトリップメーターのリセットができます。“∧”/“∨” スイッチを短押しして項目をハイライト表示してください。“✔” スイッチを長押しして選択した項目をリセットします。“OK” を押すと確定します。

要　点

“TRIP F” は燃料が少ない時にしか選択できません。それ以外の時はグレー表示され、選択できません。

メンテナンスリセット

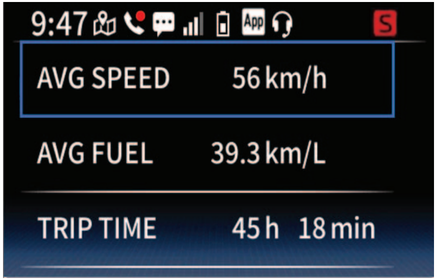


メンテナンストリップメーターと交換表示のリセットができます。“∧”/“∨” スイッチを短押しして項目をハイライト表示してください。“✔” スイッチを短押しして選択した項目をリセットします。“OK” を押すと確定します。

要　点

“OIL” と “V-BELT” をリセットするとメインディスプレイ上のオイル交換表示灯 “OIL” と V ベルト交換表示灯 “V-BELT” が消灯します。

車両情報



車両情報画面の項目をリセットできます。“∧”/“∨” スイッチを短押しして項目をハイライト表示してください。“✔” スイッチを短押しして選択した項目をリセットします。“OK” を押すと確定します。

リセット（その他）

次の項目を初期状態に一括リセットできます。

- TRIP TIME

● インフォテインメントディスプレイホーム画面
● ナビゲーション表示
● 通知リスト
● 天気情報
● Bluetooth 設定
● 時計
● 言語設定

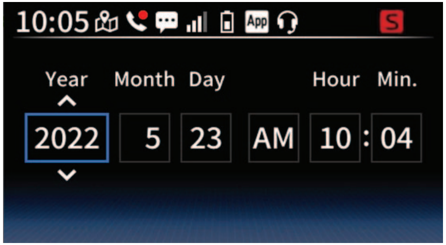
“OK” を押すと確定します。

要　点

“ リセット（その他）” を実行した場合は一度スマートフォンからもペアリング履歴を削除した後に、あらためてペアリングしてください。

メニュー → ⚙ 設定 → 時計

時計はスマートフォンと同期して自動調整できます。“ 自動調整 ” をオンするとチェックマークが入りますので、その状態でYamaha Motorcycle Connect アプリに接続してください。（4-3 ページ参照）“ 手動調整 ” では時計を手動で調整できます。



手動調整をするには “∧”/“∨” スイッチを短押ししてハイライトされた項目を上下に調整してください。“✔” スイッチを短押しすると選択項目が確定して次の項目に移ります。最後の項目が確定し “OK” を選択すると時計設定の最初の画面に戻ります。

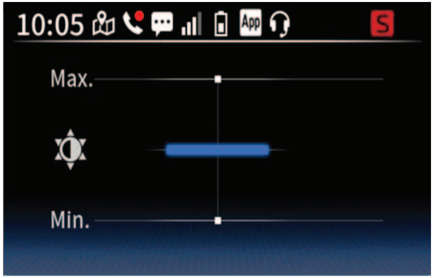
メニュー → ⚙ 設定 → 明るさ

TFT ディスプレイ：インフォテインメントディスプレイの明るさを個別に調整できます。

スピードメーター：メインディスプレイの明るさを個別に調整できます。

要　点

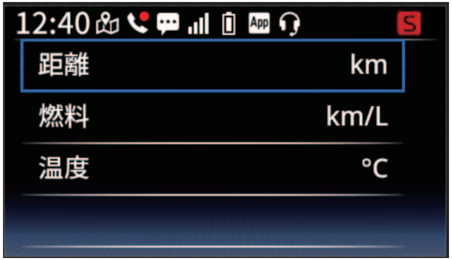
● メニュー内で明るさ調整を行うと、ディスプレイの明るさはリアルタイムに変わります。
● インフォテインメントディスプレイの温度が高温になると、ディスプレイの明るさが自動的に暗くなり、明るさ調節もできなくなります。温度が下がると、元の明るさに戻ります。



インフォテインメントディスプレイは明るさを 3 段階で調整できます。

メインディスプレイは明るさを 6 段階で調整できます。
“∧”/“∨” スイッチを短押しして明るさを上下に調整してください。“✔” スイッチを短押しすると明るさが確定し、ひとつ前のメニューに戻ります。

メニュー → ⚙ 設定 → 単位



ディスプレイの表示単位は次のように変更できます。

- 距離：“km” または “mile”
- 燃料：“km/L”、“L/100km” または “MPG”
- 温度：“°C” または ““°F”

要　点

距離単位に “mile” を選択すると、燃費単位は自動的に “MPG” に変更されます。その場合、“ 燃料 ” はグレー表示され、選択できません。

メニュー → ⚙ 設定 → システム情報

現在のシステムソフトウェアのバージョンを表示します。

ユニット ID

このメニューでは、CCU のユニット ID が含まれた QR コードを表示します。“∧”/“∨” スイッチを押すと、QR コードの明るさが変わります。“✔” スイッチを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

要　点

CCU のユニット ID は販売店の修理業務のみに必要になります。

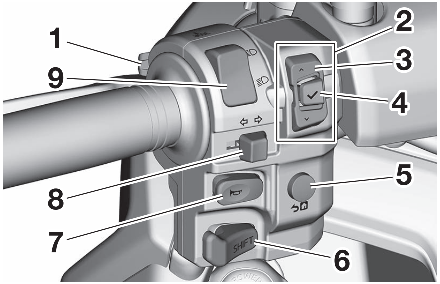
メニュー → ⚙ 設定 → 法的情報

ソフトウェアのサードパーティライセンスは、こちらで確認できます。

JAU1234U

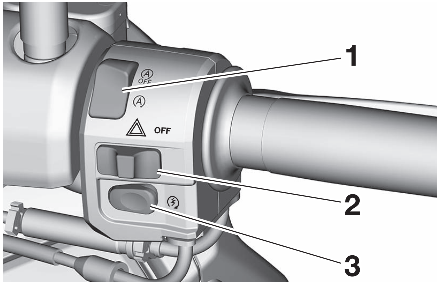
ハンドルスイッチ

<左>



1. MODE スイッチ
2. メータースイッチ
3. “∧”/“∨” スイッチ
4. “✔” スイッチ
5. “↩⌂” ボタン
6. “SHIFT” スイッチ
7. ホーンスイッチ “📯”
8. 方向指示器スイッチ “⇦/⇨”
9. ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≣D/≣D”

<右>



1. アイドリングストップスイッチ “Ⓐ/Ⓐ”
2. ハザードスイッチ “⚠/OFF”
3. スタータースイッチ “⚡”

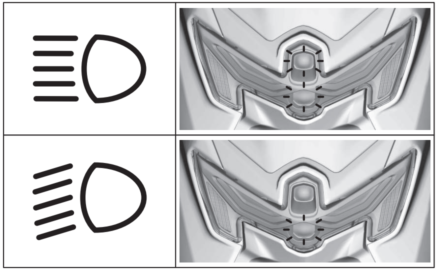
JAU12402

ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≣D/≣D”

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

≣D（上向き）：遠くを照らします。

≣D（下向き）：近くを照らします。



要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向きにしてください。

JAU80240

方向指示器スイッチ “⇦/⇨”

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。
⇨：右側の方向指示灯が点滅します。
⇦：左側の方向指示灯が点滅します。

JWA11641

⚠ 警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

JAU12501

ホーンスイッチ “📯”

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。

JAU12722

スタータースイッチ “⊛”

サイドスタンドを上げた状態で、リヤブレーキレバーを握りながらこのスイッチを押すと、スターターモーターが回転しエンジンが始動します。

JCA11882

注　意

- **スターターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。**
- **エンジンを始動させる前に、7-1 ページの始動手順を参照してください。**

JAU99171

ハザードスイッチ “△/OFF”

車両の電源をオンにした状態で、スイッチを “△” にスライドし、ハザードランプを点滅させます（全ての方向指示器が点滅します）。
ハザードランプは、故障などの非常時に他車に知らせるために使用します。
ハザードランプは、車両の電源をオンにした状態のみでオンとオフを切り替えることができます。

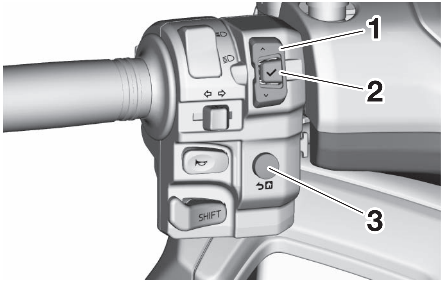
JCA11891

注　意

バッテリーあがりを防ぐため、ハザードランプを長時間使用しないでください。

JAUA2301

メータースイッチと “⮌⌂” ボタン



1. “∧”/“∨” スイッチ
2. “✓” スイッチ
3. “⮌⌂” ボタン

これらのスイッチは、インフォテインメントディスプレイおよびメニューシステムのさまざまな機能を利用するために使います。
この取扱説明書では、次の用語を使用してメニューの操作を説明しています。

短押し	スイッチもしくはボタンを短く押します
長押し	スイッチもしくはボタンを 1 秒間押します

メニューシステムの基本操作

- “∧”/“∨”　スイッチを上下に操作してメニュー項目の選択および切り替えをします。
- “✓”　スイッチを短押ししてホーム画面からメニューシステムを開く、または選択したメニューを実行します。

- “↩⌂” ボタンを短押しして 3 つのホーム画面を切り替える、またはひとつ前の選択メニューシステム画面に戻ります。
- “↩⌂” ボタンを長押ししてメニューシステムを閉じる、またはホーム画面に戻ります。

JAUA2331

“MODE” スイッチ

スイッチを押すと、走行モードの S モードと T モードが切り替わります。

要　点

- エンジンを始動すると前回選択していた走行モードが再選択されます。
- シフトダウン中に“MODE”スイッチを押すとシフトダウンがキャンセルされるのみで、走行モードは切り替わりません。

操作の詳細については 3-1 ページを参照してください。

JAUA2340

“SHIFT” スイッチ

スイッチを押すごとに 1 段ずつシフトダウンができます。操作の詳細については 3-1 ページを参照してください。

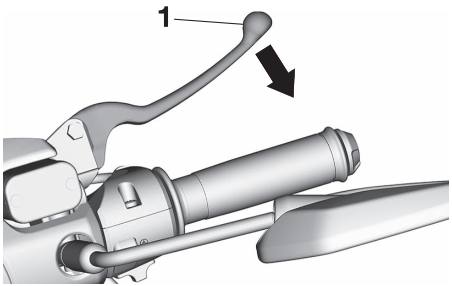
JAU76391

アイドリングストップスイッチ “Ⓐ/Ⓐ OFF”

アイドリングストップ機能をオンにするには、スイッチを “Ⓐ” の位置にします。オフにするには、スイッチを “Ⓐ OFF” の位置にします。

JAU12902

フロントブレーキレバー

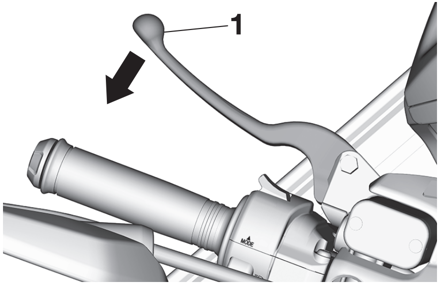


1. フロントブレーキレバー

フロントブレーキレバーは、ハンドルの右側に取り付けられています。フロントブレーキをかけるには、このレバーをスロットルグリップに向けて握ります。

JAU12952

リヤブレーキレバー



1. リヤブレーキレバー

リヤブレーキレバーは、ハンドルの左側に取り付けられています。リヤブレーキをかけるには、このレバーをハンドルのグリップに向けて握ります。

JAU90180

ABS

アンチロックブレーキシステム（ABS）は、フロントブレーキとリヤブレーキで、それぞれ独立して働きます。

JWA15363

警 告

- **ABS は制動距離を短くする装置ではありません。**
- **未舗装路や砂利道など路面の状況により、ABS のない車に比べて制動距離が長くなることがあります。速度はひかえめにし、車間距離を十分にとってください。**

ブレーキの使いかた

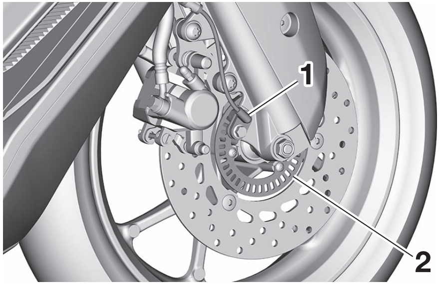
通常のブレーキと同様に、ブレーキレバーを操作します。ブレーキをかけたとき、ホイールスリップが検知されると ABS が作動し、ブレーキレバーに振動を感じます。そのままブレーキをかけ続けてください。制動距離が伸びるため、ブレーキを握ったり放したりしないでください。

- エンジン始動後、走行を始めたときに ABS は自己診断を行います。この間にハイドロリックユニットからカチカチ音が聞こえたり、ブレーキレバーに振動を感じたりしますが、故障ではありません。
- ABS が故障すると、通常のブレーキシステムとなります。

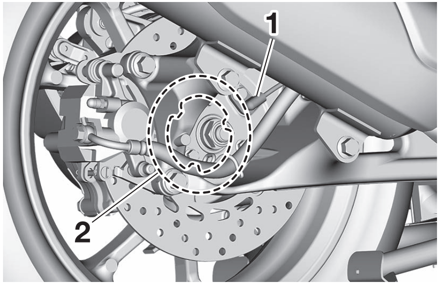
JCA20100

注 意

ホイールセンサーやホイールセンサーローターを傷つけないでください。ABS の性能が低下するおそれがあります。



1. フロントホイールセンサー
2. フロントホイールセンサーローター



1. リヤホイールセンサー
2. リヤホイールセンサーローター

JAUN3963

トラクションコントロールシステム

トラクションコントロールシステムは、未舗装または濡れた道路のような滑りやすい路面で加速するとき、加速時の駆動力を効率良く路面に伝達する働きをします。センサーが後輪のスリップを検知すると、トラクションコントロールシステムにより、スリップ状態が回復するまでエンジン出力を制御します。トラクションコントロールが有効になると、“TCS” 表示灯が点滅します。

JWA15433

警 告

トラクションコントロールシステムは、道路の状況に合わせた適切な走行をするための機能ではありません。またトラクションコントロールシステムは、スピードが出過ぎたまま曲がり角に進入するときや、車体を大きく傾斜させた状態での急な加速、ブレーキ中に起こるトラクションの低下やフロントホイールのスリップを防ぐことができません。他の車と同じように、滑りやすい路面に進入するときは注意して走行し、特に滑りやすい路面の走行はやめてください。

トラクションコントロールシステムの設定

1. トラクションコントロールシステム表示灯“TCS”

車両の電源がオンになると、トラクションコントロールも自動的にオンになります。
トラクションコントロールシステムをオフにするには、5-15 ページを参照してください。

要 点

車両が泥や砂などの軟らかい地面にはまったとき、トラクションコントロールシステムをオフにすると、抜け出しやすくなる場合があります。

JCA16801

注 意

必ず指定タイヤを使用してください。(8-9 ページ参照) 指定サイズ以外のタイヤを使用すると、トラクションコントロールシステムはタイヤの回転を正確に制御することができません。

トラクションコントロールシステムのリセット

トラクションコントロールシステムは、センサーの故障が検知されたとき、片方の車輪のみが回転したときなどに、自動的にオフになります。この場合、“TCS”表示灯が点灯するほか、“ ”警告灯も点灯することがあります。

1. トラクションコントロールシステム表示灯“TCS”
2. エンジン警告灯“ ”

要 点

メインスタンドがかかっている場合は、過剰にエンジンを回転させないでください。トラクションコントロールシステムが自動的にオフになり、リセット操作が必要になります。

トラクションコントロールシステムが自動的にオフになった場合は、次のようにリセット操作をしてください。

1. 車両を停車させ、電源をオフにします。
2. 数秒後、車両の電源をオンにします。
3. “TCS”表示灯が消灯し、システムがオンになります。

要 点

リセット操作後も“TCS”表示灯が点灯したままの場合は、乗車は可能ですが、速やかにヤマハ販売店で車両の点検を受けてください。

4. ヤマハ販売店で車両の点検を受け、“ ”警告灯を消灯してもらいます。

JAU92500

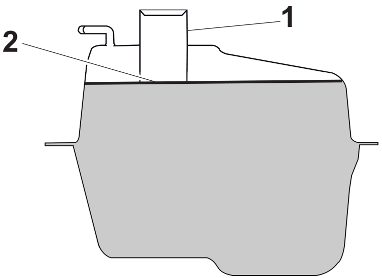
フューエルタンクキャップ

JWA12172

⚠ 警告

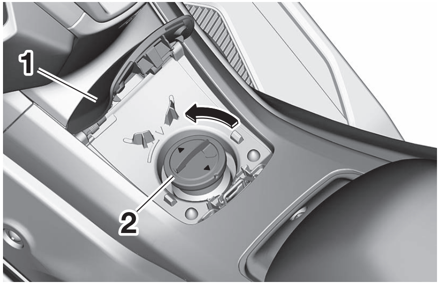
給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **セルフサービスのガソリンスタンドで給油するときは、ガソリンの吹きこぼれがないよう、慎重に給油してください。**
- **給油限度（フィラーチューブ下端まで）を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**



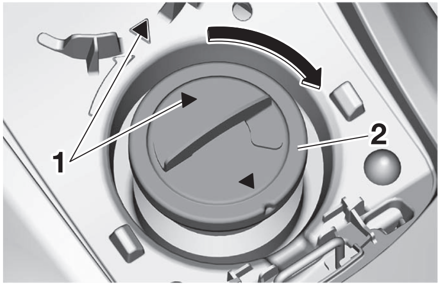
1. フィラーチューブ
2. 給油限度

フューエルタンクに給油するには、フューエルタンクキャップリッドを開けます。(3-10ページ参照)
フューエルタンクキャップを反時計回りに回し、キャップを取り外します。



1. フューエルタンクキャップリッド
2. フューエルタンクキャップ

キャップを取り付けるには、フューエルタンクキャップを給油口に挿入し、キャップ側の“△”マークと車体側の“▽”マークが合う位置まで時計方向に回します。



1. “△”マーク
2. フューエルタンクキャップ

JAU31461

燃料

JAU28313

指定燃料

> 指定燃料：
> 　無鉛レギュラーガソリン
> タンク容量：
> 　約 7.1 L

JCA12512

注 意

- **必ず指定燃料を使用してください。高濃度アルコール含有燃料や軽油、粗悪ガソリンなど、指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

JAU89401

シート

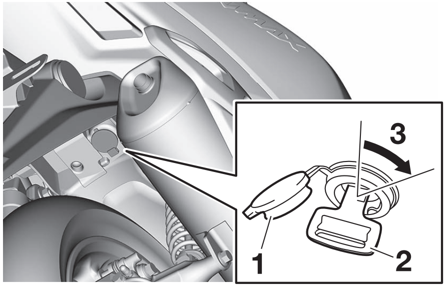
シートの開けかた

メインスイッチを使用する場合

メインスイッチを OPEN にし、“SEAT” ボタンを押します。(3-10 ページを参照)

メカニカルキーを使用する場合

1. シートロックカバーを開けます。
2. キーをシートロックに差し込み、時計方向に回します。



1. シートロックカバー
2. キー
3. 解除

3. シート後部を持ち上げます。

JCA24020

注 意

メカニカルキーを使用しないときはシートロックカバーを閉めてください。

シートの閉めかた

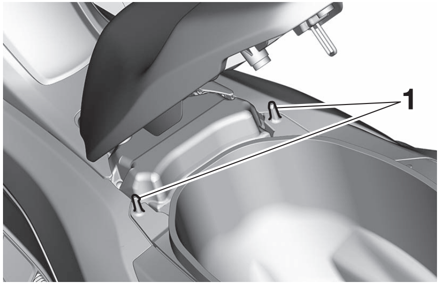
シートを下ろし、シート後部を押さえてロックします。

要 点

走行前に、必ず、シートが確実にロックされているか確認してください。

JAU37482

ヘルメットホルダー



1. ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーはシートの下にあります。
ヘルメットのあごひもの金具部分を掛け、シートを閉めます。

JWA11651

警 告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

JAU28521

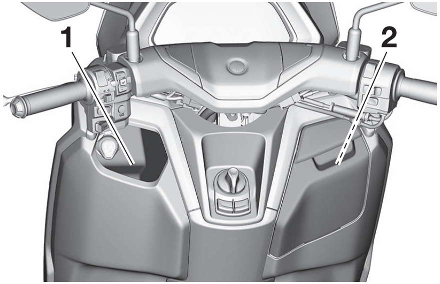
書類入れ

メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、トランク内に保管してください。

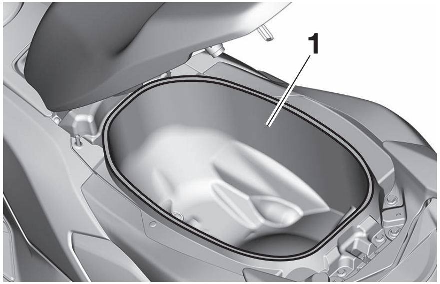
JAUN2612

小物入れとトランク

以下の位置に小物入れ 2 つとトランクがあります。



1. 小物入れ A
2. 小物入れ B



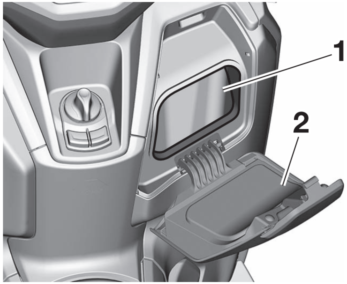
1. トランク

要　点

ヘルメットのサイズや形状によっては、トランクに収納できないものもあります。

小物入れ B

小物入れ B を開けるときは、リッドを引きロックを解除してから開けます。



1. 小物入れ B
2. リッド

閉めるときはリッドを押して元の位置に戻します。

トランク

トランクを開けるときは、メインスイッチを OPEN にし、“SEAT” ボタンを押します。(3-10 ページを参照)

要　点

車から離れるときは、必ずシートをロックしてください。

JCA15964

注 意

- **シートは長時間開けたままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。**
- **洗車をすると中に水が入ることがあります。大切な物は、ビニール袋などに入れて収納してください。**
- **濡れた物は、ビニール袋に入れてから収納してください。濡れたまま収納すると、トランク内にカビなどが発生することがあります。**
- **貴重品やこわれやすい物は入れないでください。**
- **トランク内は直射日光、エンジンの熱などで温度が高くなります。熱の影響を受けやすい用品、食料品または可燃性のものは入れないでください。**

JWA20590

警 告

以下の荷重制限を越えないでください。

- **小物入れ A: 1.5 kg**
- **小物入れ B: 0.3 kg**
- **トランク : 5.0 kg**

JAUN3020

リヤクッションの調整

リヤクッションにはスプリングプリロードアジャスターが装備されています。

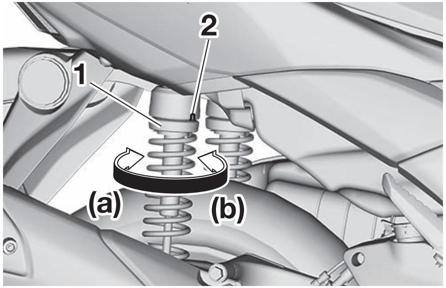
JWA10211

警 告

アジャスターは左右同じ位置に調整してください。左右が異なると操縦安定性に悪影響をおよぼします。

スプリングプリロード

プリロードアジャスターを (a) 方向に回すと、スプリングプリロードが大きくなります。
プリロードアジャスターを (b) 方向に回すと、スプリングプリロードが小さくなります。
アジャスターの番号（1 または 2）を、リヤクッションのインジケーターに合わせます。



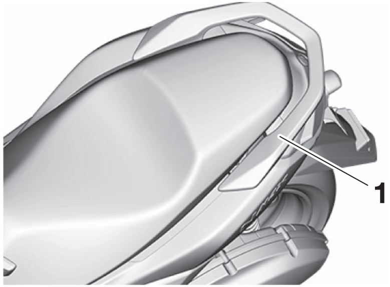
1. スプリングプリロードアジャスター
2. インジケーター

スプリングプリロード：
1：標準
2：最大（ハード）

JAU29911

スタンディングハンドル

メインスタンドを立てたり戻したりするときに、右手で持ちます。



1. スタンディングハンドル

JAUA1832

USB Type-C ジャック

この車には、5 V 3 A の USB Type-C ジャックが搭載されています。USB Type-C ジャックは、車両の電源がオンのときに使用できます。

1. USB Type-C ジャック

要　点

- エンジンを停止した状態で USB　Type-C ジャックを使用しないでください。バッテリーが消耗します。
- 条件によっては、USB　が接続されていても、デバイスのバッテリー残量が低下することがあります。

JCA28531

注 意

- **USB Type-C ジャックを水や衝突から保護するために、USB Type-C ジャックを使用しない場合は、キャップを取り付けてください。**

- **破損を防ぐため、USB ジャックのキャップを開閉する際は、無理な力を加えないようにしてください。**
- **USB　ジャックキャップが正しく取り付けられていることを確認し、雨天時や洗車時にはUSB Type-Cジャックを使用しないでください。USB Type-C ジャックが濡れた場合は、車両の電源を切った状態で乾かしてから使用してください。**
- **USB Type-C ジャックに接続されたケーブルを引っ張ったり、力を加えたりしないでください。**

JAU76780

サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立にした状態で、足でサイドスタンドを上げ下げします。

要　点

- この車にはサイドスタンドスイッチが装備されています。（サイドスタンドスイッチについては次の項目を参照してください。）
- サイドスタンドを下げると、アイドリングストップ機能は無効になります。

JWA10242

⚠ 警 告

サイドスタンドを下ろした状態で、またはサイドスタンドが正しく上がらない（上がった状態にならない）場合、車を運転しないでください。サイドスタンドが地面に接し、操縦安定性を損なうことがあります。ヤマハのイグニッションサーキットカットオフシステムは、発進前にサイドスタンドの上げ忘れを防止するよう設計されています。従って、定期的にこのシステムを点検してください。正しく機能しない場合にはヤマハ販売店に修理を依頼してください。

JAUT1098

イグニッションサーキットカットオフシステム

サイドスタンドスイッチの作動を下記のように点検します。

JWA11552

⚠ 警 告

- **点検中はメインスタンドを立ててください。**
- **点検の結果異常があった場合は、走行前にヤマハ販売店で車の点検を受けてください。**

メインスタンドを立てます。

↓

メインスイッチをONにします。

↓

サイドスタンドを上げます。

↓

ブレーキレバーを握って、スターター
スイッチを押します。

↓

サイドスタンドを下ろします。

↓

エンジンが停止したら:

↓

サイドスタンドスイッチは正常です。

日常点検

JAU1559B

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、法または法に準じ、日常の車の使用状況に応じて、使用する人の判断で適時行う点検です。

JWA12032

警 告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

6

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。)

JAU30173

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、8-1 ページ以降の点検整備の方法および別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。(※)
エンジン	● 冷却水の量が適当であること。(※) ● エンジンオイルの量が適当であること。(※) ● かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。(※) ● 低速、加速の状態が適当であること。(※)
灯火装置および方向指示灯	● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	● 当該箇所に異常がないこと。

(注)

※ 印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期(長距離走行時や洗車、給油後など)に実施をしてください。

JWA11733

警 告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU31471

ならし運転

JAU27744

ならし運転のしかた

車を長持ちさせるために、ならし運転を行ってください。

乗りはじめてから約1か月間(または1000km走行まで)は、不要な空ぶかしや急加速、急減速はしないでください。

JAU62320

エンジン始動

JWA11562

警 告

- **エンジンを始動するときには、5-30 ページに記述された手順で、イグニッションサーキットカットオフシステムの機能を点検してください。**
- **サイドスタンドを下ろした状態で走行しないでください。**

JCA11921

注 意

初めて車両を運転する前に、7-1 ページのならし運転のしかたを参照してください。

要 点

サイドスタンドを下ろした状態では、エンジンは始動できません。また、エンジン始動後、サイドスタンドを出すとエンジンは停止します。

1. メインスタンドを立てます。
2. メインスイッチを ON にします。
3. スロットルを完全に閉じます。
4. リヤブレーキレバーをしっかり握り、スタータースイッチを押して、エンジンを始動させます。

要 点

スタータースイッチで 5 秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10 秒位休ませてからスタータースイッチを押してください。

JCA16661

注 意

- **エンジンを長持ちさせるため、エンジンが冷えている間の急加速や、無用な空ぶかしは避けてください。**
- **長時間のアイドリングはガソリンのムダ使いになるだけでなく、環境への悪影響にもなりますので、やめてください。**
- **通常のアイドリング回転数を必要以上に高くした状態(スロットルグリップを開けて固定した状態など)で、長時間放置しないでください。温度上昇により、エンジンまたは車両が損傷する場合があります。**

JAU45093

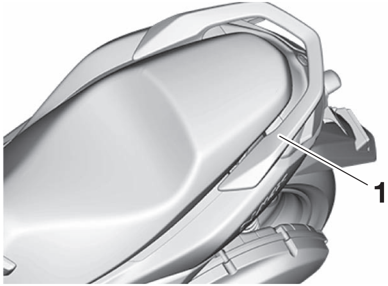
発進

JWA12261

警告

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

1. 左手でリヤブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちながら、車を前に押し出してメインスタンドを戻します。



1. スタンディングハンドル

JWA12271

警告

メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スロットルグリップを握らないでください。スロットルグリップが回り、車が走り出すことがあります。

2. シートにまたがり、バックミラーを調整します。
3. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
4. 周りの安全を確認し、スロットルグリップをゆっくりと回して発進します。

JWA12281

警告

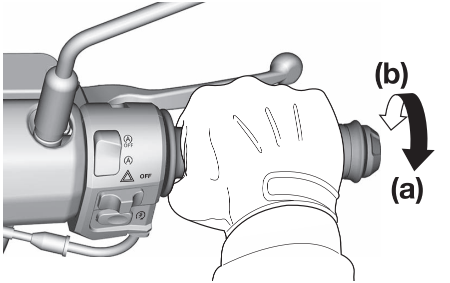
スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。

5. 方向指示器を消灯します。

JAU16783

加速と減速

速度の調節は、スロットルを開けたり、閉じたりして行います。速度を上げるには、スロットルグリップを (a) 方向に回します。速度を落とすには、スロットルグリップを (b) 方向に回します。



JCA12682

注意

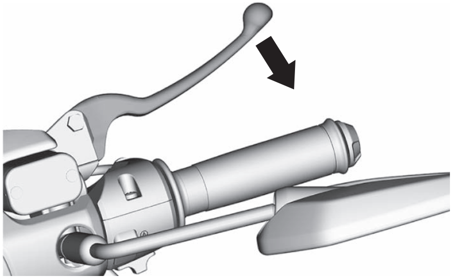
- **上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となったり、エンジン警告灯が点灯する恐れがあります。**
- **不要な空ぶかしをしないでください。エンジン警告灯が点灯する恐れがあります。**

JAU16794

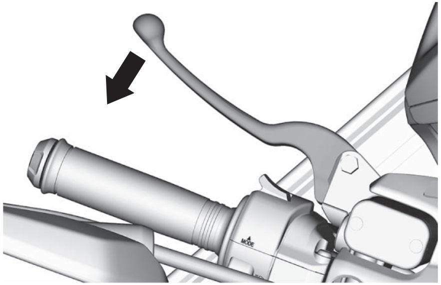
ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
2. フロントブレーキとリヤブレーキを同時に、徐々にしぼりこむように握ります。

＜フロントブレーキ＞



＜リヤブレーキ＞



JWA11573

警告

- **急なブレーキ操作は避けてください（特にどちらか一方に傾いているとき）。横すべりや転倒の原因となります。**
- **踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。**
- **濡れた路面では、ブレーキがききにくいことを留意してください。**
- **下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。**
- **連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。**

JAUW4892

駐車

駐車するときは、車両の電源をオフにしてください。
車から離れるときは、スマートキーを携行してください。
また盗難予防のため、ハンドルロックをかけることをおすすめします。

要　点

- この車両は、バッテリーあがりや盗難を防ぐため、エンスト放置警告機能を装備しています。サイドスタンドを出してエンジンを停止したあと、車両の電源をオンにしたまま放置すると、アラームが鳴って運転者にお知らせする機能です。
- エンスト放置警告機能は無効にすることができます。ヤマハ販売店にお問い合わせください。

JWA18840

警告

- **エンジンやマフラーは高温になります。通行する人などが触れない場所に駐車してください。**
- **草や可燃物などの火災の危険がある場所には、決して駐車しないでください。**
- **傾斜地や地面が柔らかいところには駐車しないでください。車が転倒することがあります。**

- **アイドリングストップ機能をオンにしたまま放置すると、バッテリーが消耗し、エンジンが再始動できなくなることがあります。**

要　点

お店のガラス越しや家の塀越しなどの隔てた場所に駐車した場合でも、車がスマートキーシステムの作動範囲内にあると、スマートキーを身につけていない他の人でもエンジンの始動や、シートの開閉、フューエルタンクキャップリッドの開閉、ハンドルロックの解除が可能になります。このようなときは、スマートキーをロックの状態にしてください。（スマートキーのロック／アンロック切替操作方法は、3-6 ページを参照してください）

JAU29839

点検整備の実施

日常点検

6-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、適時実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、1 年点検と 2 年点検の 2 種類があります。定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

JWA12055

⚠ 警 告

- **点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。**
- **点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。**
  - **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
  - **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
  - **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。**
  - **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
  - **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JWA15461

⚠ 警 告

走行直後はブレーキ関係の部品に直接触れないでください。ブレーキディスク、キャリパー、ドラム、ライニングなどは使用すると高温になり、ヤケドするおそれがあります。点検整備はブレーキ関係の部品が充分に冷えてから行ってください。

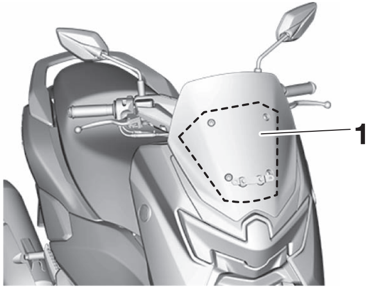
要　点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。）
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

JAU18752

カバーの取り外し、取り付け

図のカバーは、点検整備などで取り外す必要があります。カバーを取り外すときや、取り付けるときは、この項目を参照してください。



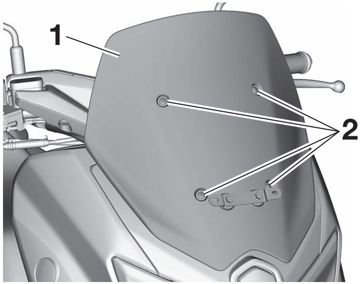
1. カバー A

JAUA4590

カバー A

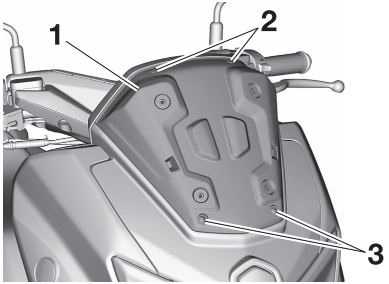
カバーの取り外しかた

1. スクリューを外し、バイザーを取り外します。



1. バイザー
2. スクリュー

2. スクリューとクイックファスナーを外し、カバーを取り外します。



1. カバー A
2. クイックファスナー
3. スクリュー

カバーの取り付けかた

1. カバーを元の位置に取り付け、クイックファスナーとスクリューを締め付けます。
2. バイザーを元の位置に取り付け、スクリューを締め付けます。

JAU30306

エンジンオイル

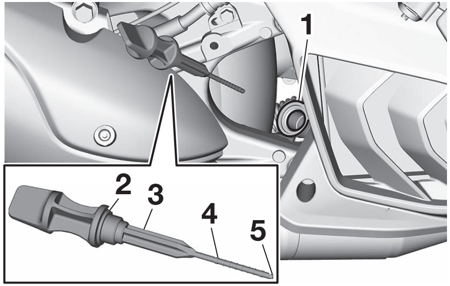
エンジンオイル量の点検

1. 平坦な場所でエンジンを2～3分間アイドリング運転します。

要　点

走行直後でエンジンが充分に暖まっていれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めてメインスタンドを立てます。（車を垂直にする）2～3分後、オイルが安定してからオイルレベルゲージを外します。レベルゲージ部をきれいにふいてオイル注入口に（ねじ込まないで）差し込み、もう一度取り出してオイル量を点検します。



1. オイル注入口
2. O リング
3. オイルレベルゲージ
4. フルレベル
5. ロアレベル

要　点

オイル量がフルレベルとロアレベルの間にあれば適切です。

3. オイル量がロアレベル以下のときは、オイル注入口から補給します。（推奨エンジンオイルについては、9-3 ページ参照）
4. O リングに損傷がないか点検し、損傷がある場合は交換してください。
5. オイルレベルゲージをオイル注入口に差し込み、確実に締めます。

JAU70750

エンジンオイルの交換時期

初回： 1 か月点検時または 1000 km 時 2 回目： 6000 km 時 3 回目以降： 6000 km 走行ごと、または 1 年ごと エンジンオイル量： 1.00 L

定期交換時期の前でも、エンジンオイルの汚れが著しいときやエンジンオイルが薄茶色に濁っているときは、早めにエンジンオイルを交換してください。汚れや濁りの程度については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JWA11861

⚠ 警 告

- **走行後など、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

JCA12261

注 意

- **化学添加剤は一切加えないでください。**
- **補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。**
- **オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。**

要　点

- エンジンオイル交換表示 “OIL” は回路の確認のため、走行距離に関係なくメインスイッチを ON にすると一旦表示されます。
- エンジンオイル交換表示 “OIL” が点滅したら、早めにヤマハ販売店でオイル交換を受け、エンジンオイルトリップメーターとエンジンオイル交換表示をリセットしてください。リセットせずにそのまま走行しますと、交換時期がずれてしまいます。（5-3 ページ参照）

8

JAU30664

ファイナルギヤオイルの交換時期

初回：
1 か月点検時または 1000 km 走行時
2 回目以降：
10000 km 走行ごと
定期交換時オイル量：
0.10 L
推奨オイル：
ヤマルーブ ギヤオイル

ファイナルギヤオイルの交換は、ヤマハ販売店で行ってください。

JAU30691

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU44194

低速、加速の状態の点検

低速、加速の状態の点検前に以下の点検を行ってください。

- エンジンを停止した状態でスロットルグリップをゆっくり回し、引っ掛かりがなくスムーズに作動することと、手を離したときにスロットルグリップがスムーズに戻ることを点検してください。また、ハンドルを左右にいっぱいに切った状態でも同じ点検を行ってください。
- スロットルケーブルに劣化や損傷などがないか点検してください。また、取り付けの状態も点検してください。
- スロットルケーブルには、ゴムカバーが取り付けられているものがあります。ゴムカバーが確実に取り付けられていることを確認し、洗車時にはゴムカバーに直接水をかけないようにしてください。ゴムカバーの汚れがひどい場合には、水で濡らして固くしぼった布などでふき取ってください。

JWA15531

警告

ケーブル、ワイヤー類に異常があるときは、早めにヤマハ販売店にご相談ください。異常がある状態で使用を続けると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして

点検します。このとき、エンジンストール（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU20071

冷却水

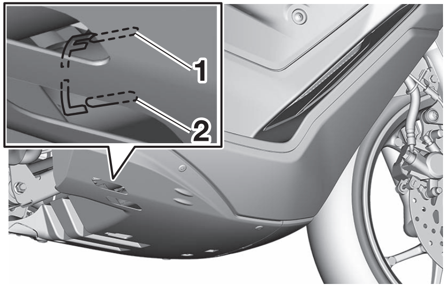
JAU30723

冷却水量の点検

要　点

冷却水量の点検は、エンジンが冷えた状態で、車を平坦なところで垂直にして行ってください。

リカバリータンク内の冷却水量が、フルレベルとロアレベルの範囲内にあるかを点検します。



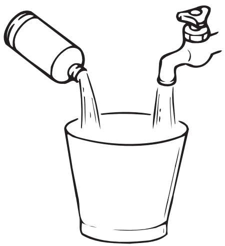
1. フルレベル
2. ロアレベル

冷却水がロアレベル以下のときは、以下を参照して補充してください。

JAU30805

冷却水のつくりかた

ヤマルーブロングライフクーラントと水道水を 1 対 1 で混ぜ合わせます。



JWA11882

⚠ 警　告

クーラントには毒性がありますので、取り扱いには充分注意してください。

- **目に入ったとき**
  水で充分に洗い流してから、医師の治療を受けてください。
- **皮膚や衣類についたとき**
  すみやかに水洗いした後、セッケン水で洗ってください。
- **飲んだとき**
  すぐにおう吐させ、医師の治療を受けてください。

JCA12112

注　意

混ぜ合わせに使用する水は水道水を使用し、井戸水や塩分の含まれた天然水は使用しないでください。

JAU70770

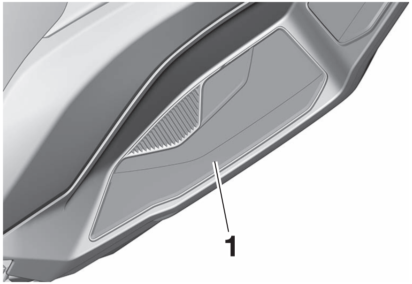
冷却水の補充

リカバリータンク内の冷却水量を点検し、液面がロアレベルより下にあるときは、冷却水をフルレベルまで補充します。

要　点

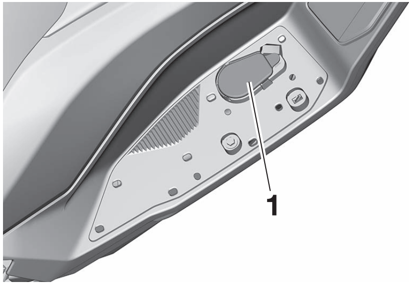
冷却水の補充は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

1. 右側のフットボードマットを取り外します。



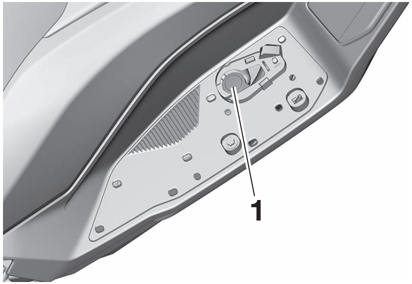
1. フットボードマット

2. リカバリータンクカバーを取り外します。



1. リカバリータンクカバー

3. リカバリータンクキャップを外し、冷却水をフルレベルまで補充します。



1. リカバリータンクキャップ

4. リカバリータンクキャップを取り付けます。
5. リカバリータンクカバー、フットボードマットを取り付けます。

JCA12121

注 意

- **フルレベル以上は入れないでください。**
- **冷却水の交換は、ヤマハ販売店で行ってください。**

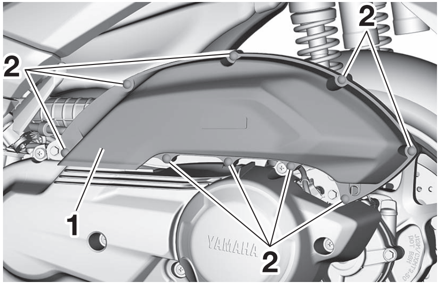
JAU67174

エアクリーナーエレメント、V ベルトフィルターエレメント

エアクリーナーエレメントは 20000 km 走行ごとに交換してください。V ベルトフィルターエレメントは10000 km走行ごとに点検、清掃してください。ただし、ほこりの多い場所や湿気の多い場所を走行する機会が多い場合は、上記よりも短い距離で交換または点検、清掃を行ってください。

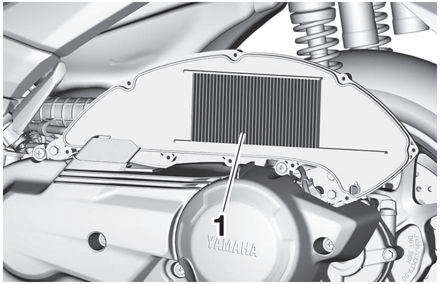
エアクリーナーエレメントの交換

1. メインスタンドを立てます。
2. スクリューを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。



1. エアクリーナーケースカバー
2. スクリュー

3. エアクリーナーエレメントを取り外します。



1. エアクリーナーエレメント

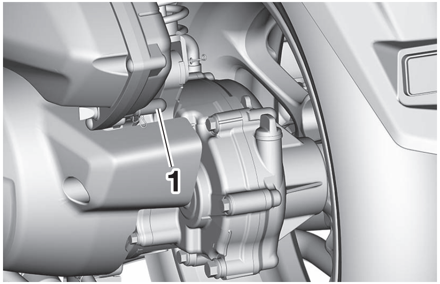
4. 新しいエアクリーナーエレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。
5. エアクリーナーケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

JCA11951

注 意

- **エアクリーナーエレメントがエアクリーナーケースに正しく装着されていることを確認してください。**
- **エアクリーナーエレメントを取り付けないままエンジンを始動しないでください。エンジンの故障の原因となります。**

ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホースの清掃

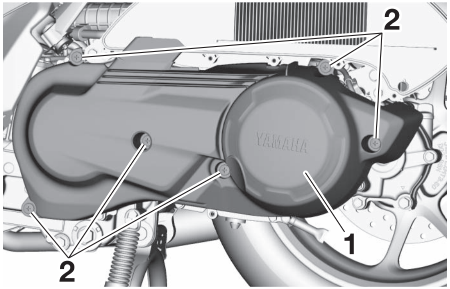


1. ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホース

1. ブリーザードレンホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。
2. 汚れや水があった場合は、ブリーザードレンホースを取り外して清掃し、元に戻します。

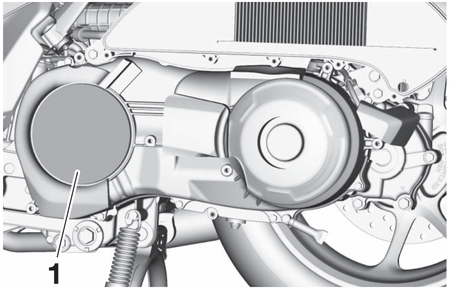
V ベルトフィルターエレメントの清掃

1. メインスタンドを立てます。
2. スクリューを外し、V ベルトフィルターケースカバーを取り外します。



1. V ベルトフィルターケースカバー
2. スクリュー

3. Vベルトフィルターエレメントを取り外します。



1. V ベルトフィルターエレメント

4. Vベルトフィルターエレメントをきれいな灯油で洗浄し、軽くしぼります。

JWA12251

警 告

ガソリンや引火性の高い洗浄剤は引火のおそれがありますので、使用しないでください。

5. 布切れなどでVベルトフィルターエレメントを包み、乾かします。
6. Vベルトフィルターエレメントの損傷を点検します。損傷している場合は交換します。
7. ヤマルーブフィルターオイルをVベルトフィルターエレメントの表面全体に塗布してから、布切れなどで包み、しぼります。
8. Vベルトフィルターエレメントを V ベルトフィルターケースに取り付けます。

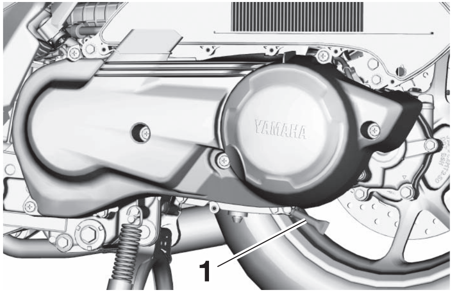
JCA13031

注 意

V ベルトフィルターエレメントは確実に装着してください。

9. Vベルトフィルターケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

V ベルトケースチェックホースの清掃



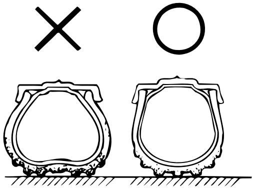
1. V ベルトケースチェックホース

1. V　ベルトケースチェックホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。
2. 汚れや水があった場合は、V ベルトケースチェックホースを取り外して清掃し、元に戻します。

JAU31013

タイヤ

空気圧



タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。

タイヤ空気圧：
1 名乗車：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm²)
後輪
250 kPa (2.50 kgf/cm²)
2 名乗車：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm²)
後輪
250 kPa (2.50 kgf/cm²)

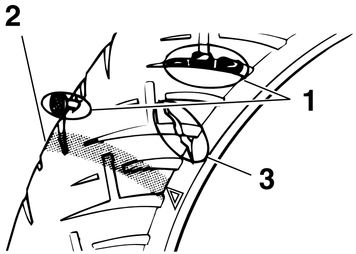
要　点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも 1 か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU28642

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



1. 異物（釘、石など）
2. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
3. 亀裂、損傷

要　点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU28701

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28744

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

8

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0.8mm になるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に原付のタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが1.6mm 以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11914

警 告

- **タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用し、前後とも同じ銘柄のものを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤや前後で異なった銘柄のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすおそれがありますので使用しないでください。**
- **過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。**
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

タイヤサイズ：
前輪：
110/70-13M/C 48P
後輪：
130/70-13M/C 63P
指定タイヤ：
前輪：
DUNLOP/SCOOTSMART
後輪：
DUNLOP/SCOOTSMART

JAU29162

ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

ブレーキレバーの遊びの点検

フロントブレーキ、リヤブレーキとも、ブレーキレバーの遊びはありません。ブレーキを手で作動させ、手ごたえがあるかどうかを確認します。

JWA11751

警 告

ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、フロントブレーキ、リヤブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。
ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JWA11761

警 告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

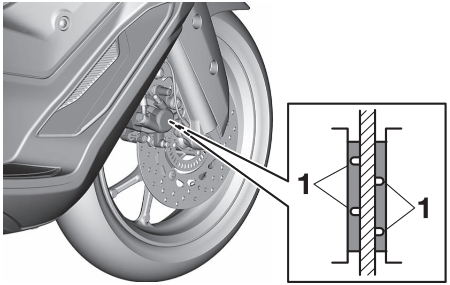
8

JAU29601

ブレーキパッドの点検

ブレーキパッドの摩耗の状態を点検します。摩耗したブレーキパッドは、ヤマハ販売店で交換してください。

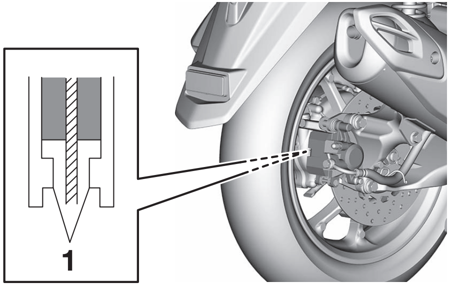
＜フロントブレーキ＞



1. インジケーター溝

ブレーキパッドのインジケーター溝がなくなったら交換してください。

＜リヤブレーキ＞



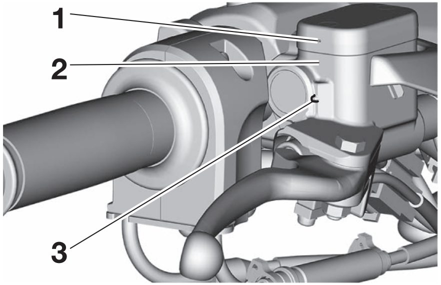
1. インジケーター

ブレーキパッドのインジケーターとブレーキディスクのすき間がなくなったら交換してください。

JAU44233

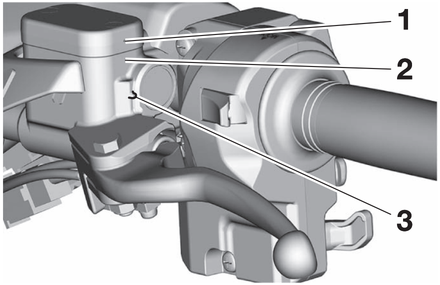
ブレーキ液量の点検

＜フロントブレーキ＞



1. ブレーキリザーバータンクキャップ
2. リザーバータンク
3. ロアレベル

＜リヤブレーキ＞



1. ブレーキリザーバータンクキャップ
2. リザーバータンク
3. ロアレベル

8

ブレーキリザーバータンクキャップ上面を水平にして、リザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。
液量がロアレベル以下のときは、販売店へブレーキ液の補給を依頼してください。

JWA12152

警 告

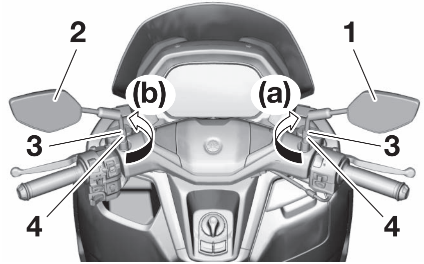
- **ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。販売店で点検・整備を受けてください。**
- **ブレーキ液は安全のために２年ごとに交換してください。**

JAU43302

バックミラー

バックミラーの脱着のしかた

- 右バックミラー取り付けアダプターのボルト部は左ネジです。右バックミラーを取り外すときは、右バックミラー取り付けアダプターを時計回り（a）方向に回します。
- 左バックミラー取り付けアダプターのボルト部は右ネジです。左バックミラーを取り外すときは、左バックミラー取り付けアダプターを反時計回り（b）方向に回します。



1. 右バックミラー
2. 左バックミラー
3. バックミラー取り付けナット
4. バックミラー取り付けアダプター

- バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

要　点

- 右バックミラー取り付けナットは、右ネジです。
- 左バックミラー取り付けナットは、左ネジです。

JAU28621

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU28762

バッテリー

バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。

バッテリー液の補充、点検は不要です。

バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

JWA11811

⚠ 警 告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

JCA12142

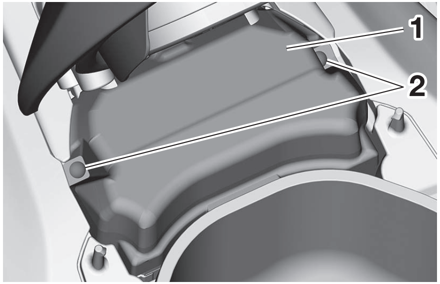
注 意

- **このバッテリーは密閉式の 12 V です。**
- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、3 か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

JAU29201

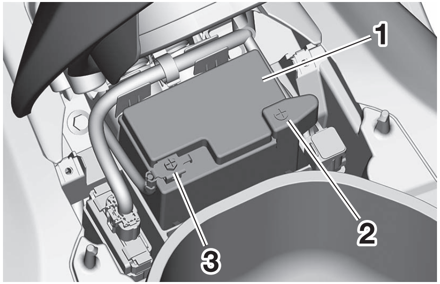
バッテリーの取り外し

1. メインスイッチを OFF にします。
2. シートを開けます。(5-26 ページ参照)
3. スクリューを外し、バッテリーカバーを取り外します。



1. バッテリーカバー
2. スクリュー

4. −（マイナス）側リード線を外し、次に＋（プラス）側リード線を外します。
5. バッテリーを取り外します。



1. ＋リード線
2. バッテリー
3. −リード線

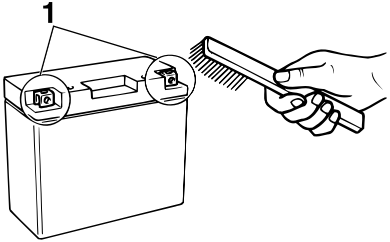
バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU29411

ターミナル部の清掃

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。

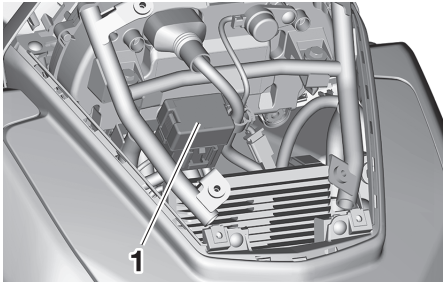


1. ターミナル

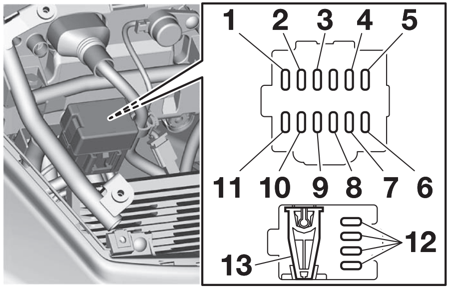
JAUA2910

ヒューズ交換

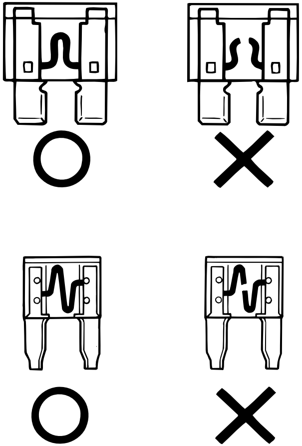
ヒューズボックスは、カバー A を外したところにあります。（8-2 ページ参照）



1. ヒューズボックス



1. ABS モーターヒューズ
2. DC ターミナルヒューズ
3. スマートキーシステムヒューズ
4. バックアップヒューズ
5. メインヒューズ
6. TCU モーターヒューズ
7. ABS コントロールユニットヒューズ
8. シグナルヒューズ
9. イグニッションヒューズ
10.ヘッドライトヒューズ
11.ABS ソレノイドヒューズ
12.スペアヒューズ
13.ヒューズプラー



要　点

- ヒューズボックスカバーの裏側にスペアヒューズがあります。
- ヒューズプラーを使用してヒューズを取り外します。

ヒューズが切れたときは、以下のように交換します。

1. メインスイッチをオフにします。
2. ヒューズプラーを使用して切れたヒューズを取り外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。

規定ヒューズ：
メイン :
30.0 A
イグニッション :
7.5 A
スマートキーシステム :
2.0 A
シグナル :
7.5 A
ヘッドライト :
7.5 A
DC ターミナル :
7.5 A
ABS モーター :
30.0 A
ABS ソレノイド :
15.0 A
ABS コントロールユニット :
2.0 A
バックアップ :
7.5 A
TCU モーター :
30.0 A

JCA12862

注 意

- **交換するヒューズは、指定されている容量のヒューズを使用してください。指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**

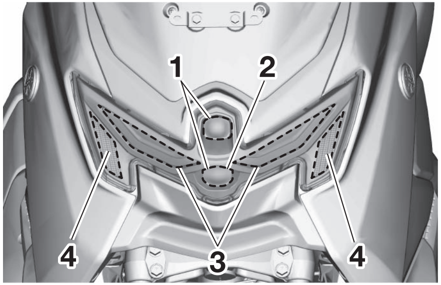
8

● 電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
● 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。

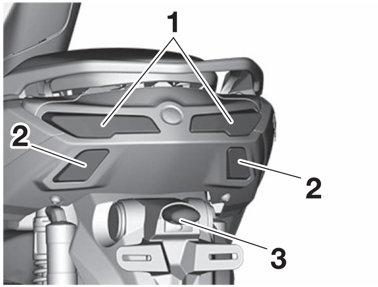
3. メインスイッチをオンにし、ヒューズ交換した装置が作動することを点検します。
4. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

JAU29447

灯火装置および方向指示灯の点検



1. ヘッドライト（上向き）
2. ヘッドライト（下向き）
3. マーカーランプ
4. 方向指示灯（前）



1. ブレーキ / テールランプ
2. 方向指示灯（後）
3. 番号灯

1. 車両の電源をオンにします。
2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトの点灯状態が良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（8-14 ページを参照）し、異常がないときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JCA12063

注 意

電球は、指定されているワット数・規格のもの（10-1 ページ「製品仕様」を参照）を使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

8

JAU29571
運行において異常が認められた箇所の点検
運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU92530
こんなときは
こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。

1. 車両の電源はオンになっていますか？
2. ガソリンはありますか？
   燃料計にてガソリン量を確認してください。
   燃料計の最後のセグメントが点滅しているときは、フューエルタンクのガソリン残量が少なくなっています。最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
3. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？
5. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してから、7-1 ページの方法でエンジンをかけなおしてください。

スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認してください。

1. 車両の電源はオンになっていますか？
2. リヤブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
3. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してもスターターモーターが回らないときは、・・・・

- ヒューズ切れが考えられます。8-14 ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？

次の順序で確認してください。

1. 車両の電源がオンになっていますか？
2. 各スイッチを作動させていますか？
3. エンジンは始動できますか？

以上のことを確認してもランプ類が点灯しないときは、・・・・

- ヒューズ切れが考えられます。8-14 ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、ランプ自体の球切れが考えられます。「製品仕様」のページの規格に合わせて、同じものと交換してください。

JCA12063

注 意

電球は、指定されているワット数・規格のもの（10-1 ページ「製品仕様」を参照）を使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

走行中にエンジンが止まったときは？

ガソリンはありますか？

燃料計でガソリン量を確認してください。燃料計の最後のセグメントが点滅しているときは、フューエルタンクのガソリン残量が少なくなっています。最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
上記のことを確認してから、7-1 ページの方法でエンジンをかけなおしてください。

走行中、V ベルト交換表示 “V-BELT” が点滅したときは？
早めに、ヤマハ販売店で V ベルトを交換してください。
交換後、リセット操作をすると V ベルト交換表示は消灯します。

JCA12531

注 意

V ベルトを交換しないまま走行すると、走行不能となるなど、故障の原因となります。

走行中、エンジンオイル交換表示 “OIL” が点滅したときは？
早めに、ヤマハ販売店でエンジンオイルを交換してください。（推奨エンジンオイルについては、9-3 ページ参照）
交換後、リセット操作をするとエンジンオイル交換表示は消灯します。

JCA12311

注 意

オイル交換をしないまま走行すると、エンジンが故障する原因となります。

走行中、ABS 警告灯 “(ABS)” が点灯または点滅したときは？
ブレーキシステムは通常のブレーキの状態になっています。急ブレーキなどでホイールがロックしないよう、慎重にブレーキをかけて、直ちにヤマハ販売店でブレーキシステムの点検を受けてください。

スマートキーシステムが作動しないときは？
スマートキーシステムが作動しないときは、次の項目を確認してください。
- スマートキーがロックの状態になっていませんか？ 3-6 ページを参照して、スマートキーをアンロック状態に切り替えてください。
- スマートキーの電池が消耗していませんか？車両の電源をオンする時にスマートキーシステム表示灯が約 20 秒点滅したときは、電池を交換してください。（3-7 ページ参照）
- 強い電波やノイズのある場所などで使用していませんか？スマートキーシステムは微弱な電波を使用しています。スマートキーシステムの作動を妨げる具体的な例については 3-3 ページを参照してください。
- スマートキーに電池が入っていない、または電池が正しく取り付けられていない状態ではないですか？電池の取り付け状態を確認してください。（3-7 ページ参照）
- 車に登録されている、専用のスマートキーを使用していますか？車に登録された専用のスマートキーを使用しないと、スマートキーシステムは作動しません。登録されている、専用のスマートキーを使用してください。
- 壊れたスマートキーを使用していませんか？ 3-5 ページを参照してください。壊れたスマートキーを使用した場合、スマートキーシステムは作動しません。
- バッテリーがあがっていませんか？バッテリーの電圧が低下しているか、バッテリーがあがっていると通信不良の原因になります。バッテリーを充電するか、交換してください。スマートキーシステムが作動しないときのバッテリー交換方法については、8-13 ページを参照してください。

以上のことを確認してもスマートキーシステムが作動しない場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。
スマートキーを使わずにエンジンを始動する方法については、8-20 ページのエマージェンシーモードを参照してください。
メカニカルキーを使用してシートのロックを解除する方法については、5-26 ページを参照してください。

エンジンが停止し、「ピッピッピッ ...」とアラームが鳴ったときは？
故障ではありません。
エンジン始動後、サイドスタンドを出すとエンジンは停止し、上記のアラームが約 1 分間鳴ります。

JCA22550

注 意

サイドスタンドを出してエンジンを停止させたときは、必ず車の電源をオフにしてください。オンのままですと、バッテリーあがりの原因となります。

要 点

上記のアラームを鳴らないようにすることができます。詳しくは、ヤマハ販売店にご相談ください。

アイドリングストップ表示灯が点灯しないときは？

1. メインスイッチがオンになっていますか？
2. アイドリングストップスイッチを“Ⓐ”にしていますか？
3. エンジン始動後、充分に暖機運転をしましたか？
4. エンジン暖機後、一定時間アイドリング運転をしましたか？
5. 10 km/h以上の速度で走行しましたか？

上記を満たしても、バッテリー保護のためアイドリングストップ機能がオンにならないことがあります。その場合は、しばらく走行してください。また、エンジン警告灯が点灯するとアイドリングストップ表示灯は点灯しません。

以上のことを確認してもアイドリングストップ表示灯が点灯しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

アイドリングストップ表示灯は点灯しているが、エンジンが自動的に停止しないときは？

1. 確実に停車していますか？
   一定時間停車していないとエンジンが自動的に停止しないことがあります。確実に停車をしてみてください。
2. スロットルグリップを回していませんか？
   スロットルグリップが完全に戻っていないと、エンジンは自動的に停止しません。スロットルグリップを完全に戻してください。

以上のことを確認してもエンジンが自動的に停止しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

アイドリングストップ後、スロットルを開けてもエンジンが再始動しないときは？

1. アイドリングストップスイッチが“Ⓐ OFF”になっていませんか？
   アイドリングストップがオンになっているときにアイドリングストップスイッチを“Ⓐ OFF”にすると、アイドリングストップがキャンセルされます。
2. サイドスタンドを操作していませんか？
   サイドスタンドを下ろすと、アイドリングストップがキャンセルされます。
3. 長時間アイドリングストップしていませんか？
   長時間アイドリングストップしているとバッテリーが消耗します。

以上のことを確認してもエンジンが再始動しないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

8

JAU76564

スマートキーシステムのエマージェンシーモード

スマートキーを紛失したとき、またはスマートキーの電池切れや故障などでスマートキーが使用できないときに、このモードの操作を行うことで、スマートキーがなくても車両の電源を ON にし、エンジンを始動することができます。

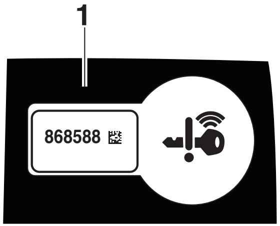
要　点

各操作を行うとき、それぞれの操作で決められた時間内に操作を終了しないと、エマージェンシーモードの操作を中止します。

1. 車を安全な場所に停車させ、メインスイッチを“🔒”または OFF になっていることを確認します。
2. スマートキーシステム表示灯が1回点滅するまでメインスイッチノブを5秒押します。この操作を 3 回行うと、スマートキーシステム表示灯が 3 秒間点灯し、エマージェンシーモードに移行したことを知らせます。

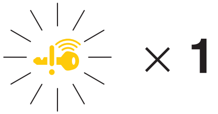
1. スマートキーシステム表示灯“ ”

3. スマートキーシステム表示灯が消灯後、ID 番号カードを参照して ID を入力します。

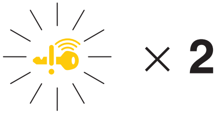


1. ID 番号カード

4. ID の入力数値は、スマートキーシステム表示灯の点滅回数を数えて行います。
   操作例（ID:123456 を入力するとき）
   メインスイッチノブを押し続けます。
   ↓
   スマートキーシステム表示灯が点滅を開始します。
   ↓



1回点滅したところでメインスイッチノブをはなします。
↓
1 番目（ID の左端）の数値「1」が確定します。
↓
再びメインスイッチノブを押し続けます。
↓



2回点滅したところでメインスイッチノブをはなします。
↓
2 番目（ID の左から 2 つ目）の数値「2」が確定します。
↓

以下、6 番目（ID の右端）の数値を確定するまで繰り返します。正しい 6 桁の ID を入力すると、スマートキーシステム表示灯が 10 秒間点灯します。

要　点

下記のいずれかに該当した場合は操作が無効となり、エマージェンシーモードを終了します。このとき、スマートキーシステム表示灯は 3 秒間速く点滅します。この場合は、ステップ「2」からやり直してください。

- ID の入力作業中に 10 秒以上、メインスイッチノブの操作が無いとき
- スマートキーシステム表示灯を 9 回以上点滅させたとき
- ID が正しく入力されなかったとき

5. スマートキーシステム表示灯が点灯している間にメインスイッチノブをもう一度押すと、エマージェンシーモードが完了します。スマートキーシステム表示灯が一瞬消灯したあと、再度約 4 秒点灯します。
6. スマートキーシステム表示灯が点灯している間にメインスイッチを ON にすると、通常どおり車両を操作できます。

JAU35124

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

マット塗装（ツヤ消し塗装）のお手入れ

お車によってはマット塗装が施されています。マット塗装部分のお手入れをするときは、以下の点に注意してください。

JCA13084

注 意

- **洗車などでブラシは使用しないでください。塗装を傷つけることがあります。**
- **ワックスがけはしないでください。外観が変化することがあります。**
- **コンパウンドは使用しないでください。マット塗装の表面が研磨されて、光沢がでることがあります。**

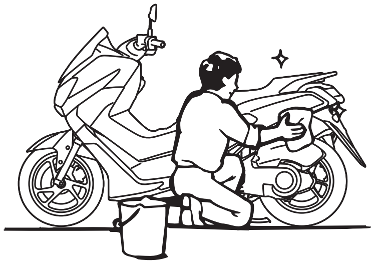
JAU27977

洗車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して洗車した後、充分に水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）

ワックス：
ユニコンカークリーム



JWA11931

警 告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドにワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因になることがあります。**

JCA12215

注 意

- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **ヘッドライト、メーターパネル、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。**
- **ウインドスクリーン、ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品やマフラーは、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やス**

ポンジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが充分に落ちないときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落としてください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。
- **高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。**

要　点

洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れます。

JAU27991

キャストホイールの取り扱い

日常のお手入れ

清掃は中性洗剤を使用し、スポンジで水洗いします。
（工業用洗剤、みがき粉、クレンザー、金属タワシなどは、傷がつくので使用しないでください。）
洗車後は、乾いた布などで水分をよくふきとってください。
長期間お手入れをしませんと、表面だけでなく内部まで腐食します。手遅れにならないように、お手入れをしてください。

JWA11951

⚠ 警 告

変形したり、損傷したキャストホイールは、修正して使用しないでください。変形したり、損傷したときは、ヤマハ販売店にご相談ください。

JCA12221

注 意

- **縁石などに乗り上げるときは、キャストホイールのリムが傷つきやすいので注意してください。**
- **アルミは塩分に弱く腐食しやすいので、海岸付近や凍結防止剤をまいた道路などを走った後は、すぐに水洗いをしてください。**

JAU98590

ウインドスクリーンの取り扱い

使用上の注意

- 走行前、各部が確実に取り付けてあるか、取り付けにガタがないかなどを点検してください。
- ウインドスクリーンの清掃は、キズをつけないように中性洗剤を使い、柔らかい布かスポンジで水洗いします。洗車後は、柔らかい布などで水分をよくふきとってください。

JWA22090

⚠ 警 告

ウインドスクリーンとメーターフードの間に物を置くと、視界を妨げたり、運転操作に影響を与えることがあります。物を置かないでください。

JCA28210

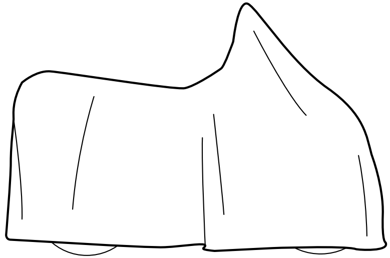
注 意

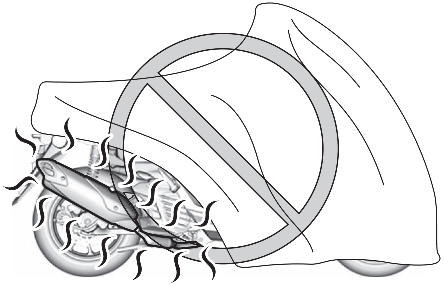
- **ウインドスクリーンにガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。**
- **ヒビ割れのあるウインドスクリーンは使用しないでください。**

JAU35912

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。
なお、ボディーカバーはエンジンやマフラーが冷えてからかけてください。





JCA13111

注 意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）サビを防ぐ効果があります。**
- **バッテリーを取り外し、充電器で満充電にした後、湿気のない涼しい場所に保管してください。また、バッテリーの劣化を抑えるため、3 か月ごとに補充電を行ってください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

※ 補充電については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU28087

アフターケア用品について

ヤマハ車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。大切なお車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。また、お車の手入れにも、ヤマハ純正用品をご使用いただくことをおすすめします。

JAU88210

ヤマハ純正オイル

ヤマルーブブルーバージョン for スクーター

スクーター用低フリクションオイル
高回転かつ高温で運転される二輪車エンジン特有の要求性能に合わせて開発された部分合成ベースオイルに、摩擦低減剤を多く配合した 4 サイクルスクーター向けエンジンオイルです。
摩擦低減剤の作用により、アイドリング安定性・省燃費・出力向上などの効果が期待できます。

ヤマルーブ RS4GP

ヤマルーブシリーズ最高峰エンジンオイル。
高負荷、高回転での過酷な条件に耐える油膜保持性、せん断安定性に優れ、長時間安定して高い潤滑性能を発揮します。
低摩擦特性・高い油膜保持性により、優れたスロットルレスポンスとシフトフィーリングを長時間安定して発揮します。

ヤマルーブプレミアムシンセティック

中・大型車両に最適な高品質二輪車用オイル。
大排気量モデルでの夏場の渋滞運転などエンジンには過酷な状況に強いオイル。
高温高負荷状況下で蒸発が少なく、高い酸化安定性能と油膜保持性能を発揮します。

ヤマルーブスポーツ

走行シーンを選ばないミドルグレードオイル。
価格と性能のバランスに優れ、排気量や車種を問わないオイル。
ストリートからロングツーリングまであらゆる走行シーンで安定した性能を発揮します。

ヤマルーブスタンダードプラス

経済的にも優れた、コストパフォーマンスオイル。
工場出荷時にも充填されるベーシックオイル（一部車種を除く）。
コストパフォーマンスに優れ、スポーツ走行からタフな業務使用まで幅広い用途に対応。

エンジンオイル以外のオイルや、その他の油脂液類については、次の URL を入力してホームページを参照するか、
「ヤマハ　バイク　オイル」というキーワードで検索してください。

https://www.ysgear.co.jp/mc/

ヤマハ　バイク　オイル　検索

製品仕様

寸法 :
全長 :
1935 mm
全幅 :
740 mm
全高 :
1200 mm
シート高 :
770 mm
軸間距離 :
1340 mm
最低地上高 :
125 mm

重量 :
車両重量 :
135 kg
乗車定員 :
2 名

性能 :
最小回転半径 :
2.0 m

エンジン :
行程 :
4 ストローク
冷却方式 :
水冷
動弁機構 :
SOHC
気筒数 :
単気筒
総排気量 :
155 cm^3

フロントブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

リヤブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

フロントタイヤ :
種類 :
チューブレス
サイズ :
110/70-13M/C 48P
メーカー / 銘柄 :
DUNLOP/SCOOTSMART

リヤタイヤ :
種類 :
チューブレス
サイズ :
130/70-13M/C 63P
メーカー / 銘柄 :
DUNLOP/SCOOTSMART

エレクトリカル :
電圧 :
12V

バルブワット数 :
ヘッドライト :
LED
ブレーキ / テールランプ :
LED
方向指示灯（前）:
LED
方向指示灯（後）:
LED
番号灯 :
5.0 W
マーカーランプ :
LED

エンジンオイル :
推奨オイル :
ヤマルーブ Blue ver. For Scooter、プレミアムシンセティック、スポーツ、スタンダードプラス

エンジンオイル量 :
オイル交換時 :
1.00 L

ファイナルギヤオイル :
推奨オイル :
ヤマルーブギヤオイル
オイル量 :
0.10 L

冷却水容量 :
リザーブタンク（FULL レベルまで）:
0.13 L
ラジエターと全ての経路 :
0.50 L

バッテリー :
バッテリー型式 :
YTZ7V
バッテリー容量 :
12 V, 6.0 Ah (10 HR)

スパークプラグ :

メーカー / 型式 :

NGK/CPR8EA-9

プラグギャップ :

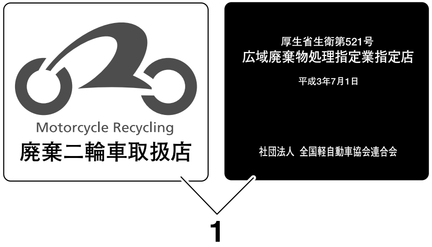
0.8–0.9 mm

JAU36644

二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？
廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

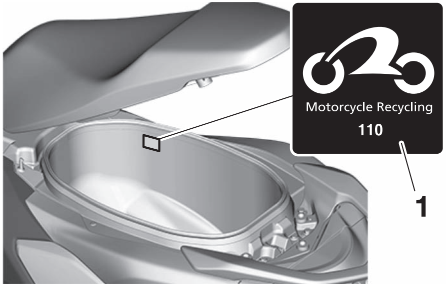
廃棄二輪車取扱店とは？
一般社団法人　全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



1. 廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？
廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただきません。
ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い
この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。
廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。
剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。



1. 二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて
廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」、または下記のホームページへお願いします。
ヤマハ発動機（株）　二輪車リサイクルシステム
https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/recycle/
公益財団法人　自動車リサイクル促進センターホームページ
https://www.jarc.or.jp/motorcycle/

JAU28393

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。
サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

サービスマニュアル　部品番号：

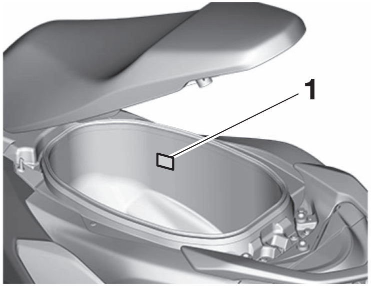
QQS-CLT-000-BTB

JAU50493

車両情報

モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。
モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。
モデルラベルは、トランク内に貼り付けてあります。



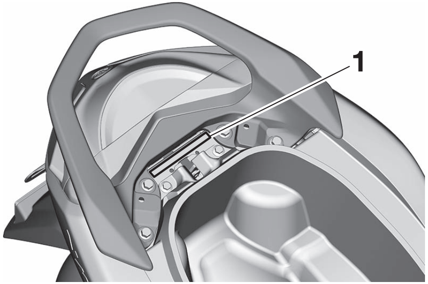
1. モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車名は
NMAX155
モデルラベル
製品仕様を示しています。
○
カラーリングを示しています。
●

JAU50501

車台番号



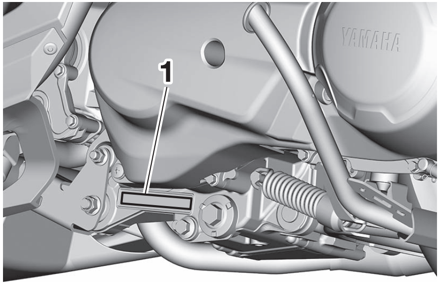
1. 車台番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

11

JAU50511

原動機番号

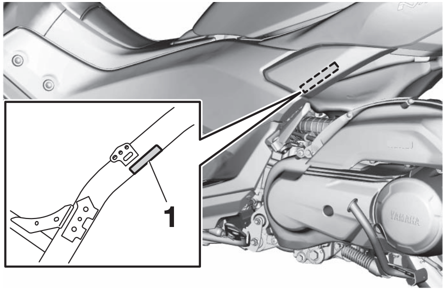


1. 原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU50522

型式認定番号

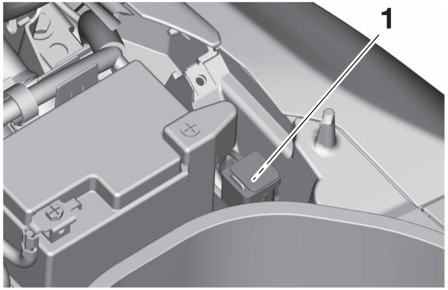


1. 型式認定番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU73861

故障診断コネクター



1. 故障診断コネクター

この車には故障診断コネクターが搭載されています。

JAUA1211

車両情報の記録に関して

これはヤマハ発動機（以下、当社といいます）の車両情報利用についての概要です。詳細については、当社 WEB サイトのプライバシー・ポリシーをご確認ください。
https://global.yamaha-motor.com/jp/privacy/

車両情報の記録と収集方法

この車両に搭載されているコンピューターは、次の 3 種類の車両情報を記録しています。
1）車体番号
2）エンジン / モーターの使用状況、車速、走行距離などの車両稼働状況の情報
3）故障診断コード（DTC）など、車両の状態を示す情報
記録した車両情報は車両点検や修理の際にヤマハ車専用の故障診断ツールを接続した場合に限り、当社のサーバーに送信されます。

車両情報の利用目的

当社は収集した車両情報を以下の目的で使用します。
1）適切なメンテナンスや故障探求のため
2）適正な保証修理判定のため
3）製品の研究開発
4）製品、機能、およびサービスの品質向上のため
5）その他の事業目的を達成するため
6）法的義務の履行や係争事案対応のため

車両情報の提供に関して

利用目的の達成に必要な範囲内で、子会社、関連会社、業務提携会社、ヤマハ販売店、および業務委託先に情報を提供する場合があります。

お問い合わせ窓口

車両情報の取扱いに関しての請求、質問やご要望がある場合は、以下のメールアドレスにお問合せください。
ヤマハ発動機株式会社
〒 438-8501 静岡県磐田市新貝 2500
dpo@yamaha-motor.co.jp

こちらの連絡先は、車両情報収集に関するお問い合わせのみに使用させていただいております。

ユーザー情報

関連のないお問合せをいただいた場合、回答できないことがございます。あらかじめご了承ください。
お客様のご要望に的確にお応えするため、ご連絡いただく際には、**お客様の名前、住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先と車体番号**をお知らせください。ご連絡いただいた内容に不明な点がある場合は、お客様にご連絡させていただきます。なお、確認が取れない場合はご要望に応じられない可能性があります。

Numerics
YECVT 警告灯 5-2
あ
アイドリングストップ表示灯 5-3
アイドリングストップ機能 3-12
アイドリングストップ機能使用時の注意 3-15
アイドリングストップスイッチ 5-22
アイドリングストップの起動 3-13
アイドリングストップの操作手順と作動 3-13
あなた自身と同乗者のために 1-1
アフターケア用品について 9-3
い
イグニッションサーキットカットオフシステム 5-30
インフォテインメントディスプレイ 5-5
う
ウインドスクリーンの取り扱い 9-2
運行において異常が認められた箇所の点検 8-17
え
ABS 5-23
ABS 警告灯 5-2
エアクリーナーエレメント、V ベルトフィルターエレメント 8-7
エンジンオイル 8-3
エンジン警告灯 5-1
エンジン始動 7-1
エンジンのかかり具合、異音の点検 8-4
か
加速と減速 7-2
型式認定番号 11-3
カバーの取り外し、取り付け 8-2
環境・住民の方との調和のために 1-6
き
キャストホイールの取り扱い 9-2
け
警告灯と表示灯 5-1
原動機番号 11-3
こ
故障診断コネクター 11-3
小物入れとトランク 5-27
こんなときは 8-17
さ
サービスマニュアル（別売）の紹介 11-2
サイドスタンド 5-30
し
シート 5-26
SHIFT スイッチ 5-22
シフトダウン方法 3-1
車体各部の給油脂状態の点検 8-13
車台番号 11-2
車両情報 11-2
車両情報の記録に関して 11-4
車両の特徴 3-1
初期設定 4-2
書類入れ 5-27
す
スタータースイッチ 5-21
スタンディングハンドル 5-29
スマートキーおよびメカニカルキーの取り扱い 3-5
スマートキーシステムのエマージェンシーモード 8-20
スマートキーシステムの概要 3-3
スマートキーシステムの作動範囲 3-4
スマートキーシステム表示灯 5-3
スマートキー操作のしかた 3-6
スマートキーの電池交換のしかた 3-7
スマートフィーチャー 4-1
せ
接続エラーが発生したときは 4-7
洗車 9-1
そ
走行モードの切替 3-1
た
タイヤ 8-9
ち
駐車 7-3
て
低速、加速の状態の点検 8-4
デュアルディスプレイ 5-3
点検整備の実施 8-1
電話 4-6
と
灯火装置および方向指示灯の点検 8-16
トラクションコントロールシステム 5-23
トラクションコントロールシステム表示灯 5-2
な
ナビゲーションシステム 4-4

索引

ならし運転 7-1
に
日常点検箇所／点検内容 6-1
日常点検の実施 6-1
二輪車を廃棄する場合は？ 11-1
ね
燃料 5-26
は
ハザードスイッチ 5-21
バックミラー 8-12
発進 7-2
バッテリー 8-13
ハンドルスイッチ 5-20
ひ
ヒューズ交換 8-14
ふ
ファイナルギヤオイルの交換時期...... 8-4
フューエルタンクキャップ 5-25
ブレーキ 7-3
ブレーキ液量の点検.......................... 8-11
ブレーキパッドの点検...................... 8-11
ブレーキレバーの遊び、
きき具合の点検................................ 8-10
フロントブレーキレバー 5-22
へ
ヘッドライト上向き表示灯 5-1
ヘッドライト上下切り替え
スイッチ 5-20
ヘルメットホルダー.......................... 5-27
ほ
ホーンスイッチ 5-21
方向指示器スイッチ.......................... 5-21
保管のしかた..9-3
歩行者と他の車のために 1-5
め
メータースイッチとホームボタン 5-21
メインスイッチ....................................3-9
メインディスプレイ 5-4
メニューシステム 5-10
メニューシステムの操作 4-1
も
MODE スイッチ 5-22
モデルラベル......................................11-2
や
YECVT
（ヤマハ電子制御無段変速機構）........3-1
ゆ
USB Type-C ジャック 5-29
り
リヤクッションの調整 5-28
リヤブレーキレバー 5-22
れ
冷却水 8-5

12

Yamaha Motorcycle Connect

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

YAMAHA

QQS-CLT-100-BTB

PRINTED IN INDONESIA
2024.10